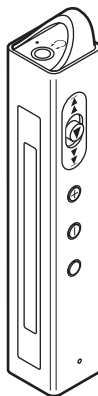
取扱説明書

デジタルミュージックプレーヤー

品番　DMP-M600
DMP-M700

保証書付

お買い上げいただきましてありがとうございました。
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、“いつでも見られる所”に大切に保管してください。
なお、この取扱説明書は“保証書付”になっています。保証書は「お買い上げ日」、「販売店」などの記入を必ず確かめ、販売店よりお受け取りください。

基本操作ガイドについて
操作途中で困ったときは、基本操作ガイドを使って解決してください。
操作のお手伝いをします。
ただし、この取扱説明書の5ページ「安全上のご注意」と、11ページ「付属品の確認」をはじめに必ずお読みください。

お客さまメモ

お買い上げの際にご記入ください。
お問い合わせの時などに便利です。

品　番	DMP-M600 DMP-M700
お買い上げ日	年　月　日
お買い上げの販売店名	電話（　　）　－

この商品には、リチウムイオン充電池を使用しています。リチウムイオン充電池のリサイクルにご協力ください。

本機でできることのフローチャート

もくじ

はじめに

パソコン操作編

本体操作編

その他

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

安全のため必ずお守りください。

■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

△ 「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。
⃠ 「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。

本体について

⚠ 警告

■ 分解・改造しない

分解禁止

本機を分解、改造しないでください。

火災、感電の原因となります。内部の点検および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

ただし、廃棄時には内蔵の充電池を取り出してリサイクルにご協力ください。

119ページ「廃棄時の充電池の処理について」参照

■ 運転中は使用しない

禁止

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。
また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分ご注意ください。

■ 内部に水や異物を入れない、また風呂やシャワー室で使用しない

水場禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 大音量で長時間続けて聞きすぎない

禁止

ヘッドホンやイヤホンで聞くときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでおやめください。
また、突然大きな音がでて耳を痛めることがありますのでボリュームは徐々に上げるようご注意ください。

■ 極端な温度条件のもとでは使用しない

禁止

結露などによる火災や感電の原因になります。
温度が5℃未満、または35℃を超える場所では使用しないでください。

■ 置き場所に注意

禁止

湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
また、窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

注意

■ 電磁波の強い場所では使用しない

禁止

高圧ケーブルや携帯電話など、電磁波の強い場所やデバイスの近くでの録音はノイズが入りますので避けてください。

■ 磁気の発生や影響する場所に近づけない

注意

磁気の発生する近くに本機を置かないでください。また、本機を磁気カード類とも一緒にしないでください。磁気データが壊れて使用できなくなることがあります。

電源(充電池)について

注意

■ この製品はリチウムイオン充電池を内蔵しています

禁止

注意

発熱、発火、破裂などを避けるために、必ず下記の注意事項をお守りください。

- 付属の専用USB接続ケーブル以外で充電しないでください。液漏れや破損の原因になります。充電するときは必ず付属の専用USB接続ケーブルでパソコンに接続して充電してください。
- 火のそばや中に入れないでください。また、炎天下に放置しないでください。充電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になります。
- 不要になった充電池を、一般のゴミと一緒に捨てないでください。リサイクルのためお買い上げの販売店やお近くの電気店にお持ちください。
- 充電池は消耗品です。充電・放電を繰り返すうちに使用できる時間は短くなります。使用できる時間が最初に比べて約半分になったときは、充電池の交換時期です。
  交換についてはお買い上げの販売店にご依頼ください。
- 充電中に本機があたたかくなることがありますが、異常ではありません。ただし、長時間触れていると低温やけどを負うことがありますので充電中の本体には触れないようにしてください。もし、触れられないほど熱くなった場合は、すぐに専用USB接続ケーブルを抜いて、お近くのお客さまご相談窓口にご相談ください。

■ 本機のデータを消去するときは、電池残量の確認をする

本機のデータを消去するには、電池残量表示を確認してください。
消去の途中で電源が切れると、本機のデータは消去できません。

録音中に電池残量表示の目盛りがなくなったら

すぐに録音をやめて、充電してください。

充電池が液漏れしたとき

液が本体内部に残ることがありますので、当社のお客さまご相談窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になりますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服についたときも、やけどなどの原因になりますので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症などの症状がでたときには、医師に相談してください。

リサイクルのお願い

この商品には、リチウムイオン充電池を使用しております。リチウムイオン充電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済み商品の廃棄に際しては、リチウムイオン充電池を取り外して、リサイクルにご協力ください。
廃棄するための内蔵充電池の取り外し手順は、119ページをご覧ください。

温度上昇について

本機を充電中（パソコン接続）で、長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

電波障害自主規制について
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビに近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

著作権について
放送やMD、CD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
あなたが録音したものは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

必ずお読みください

本機の使用中、万一何らかの不具合により、録音の失敗および録音内容(データ)の損失を防ぐために
1.録音前には必ず試し録音をしてください。
2.録音データを他の機器にバックアップしてください。
本機の使用中での不具合によるデータ損失や機会損失などの補償については、当社では責任を負いかねます。また、修理でのデータ消去を伴う事項が発生しても補償については、当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

登録商標についての注意

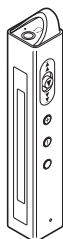
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Microsoft、Windows Media™およびWindows® ロゴは米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。

- Windows Media™ PlayerはMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。
- DigiOnは株式会社デジオンの登録商標です。Powered By DigiOn Portion Copyright ©2001 DigiOn, Inc.
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では™、® マークは明記していません。

※ 本書は製品開発に先がけて印刷されており、その後性能改善や操作性向上のため製品仕様の一部が変更となることがあります。その場合は製品自体の仕様が優先されます。

付属品の確認

箱から出し、付属品がそろっているか確認してください。

- 本体 1

- 専用USB接続ケーブル 1

- インナーイヤー型ステレオ
  ヘッドホン（FMアンテナ兼用） 1

- ストラップ 1
- 本書（保証書付） 1
- 基本操作ガイド 1
- CD-ROM（MusicFileMaster/
  Windows 98SE USBドライバ） 1

付属のソフトウェアについて

□ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されています。
□ 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求などにつきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
□ 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り換えいたします。
□ 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
□ 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。

※CD-ROMをオーディオ用プレーヤーでは再生しないでください。

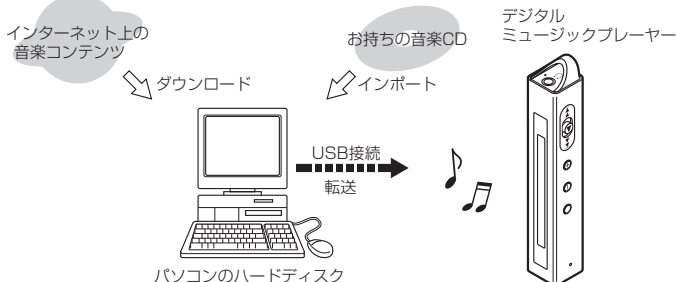
デジタルミュージックプレーヤーとは?

パソコンと接続して、内蔵メモリに記録したデジタル音楽データを手軽に持ち運んで聞くことができる、ポータブル機器です

■ 付属の専用ソフトウェア「**MusicFileMaster**」を使用して、パソコンのハードディスクに保存した音楽データをデジタルミュージックプレーヤーに転送し、内蔵メモリに記録・編集して、聞くことができます。

■ Microsoft社の「**Windows Media Player**」を使って音楽データの記録、再生が可能です。

■ デジタル音楽データをパソコンのハードディスクに取り込むには、以下のような方法があります。

- インターネットなどを利用した音楽配信サービス(EMD=Electronic Music Distribution)で音楽をダウンロード。
  本機で使用できるのは、WMAの音楽配信データのみです。
- パソコンのCD-ROMドライブからハードディスクに音楽CDをインポート(取り込み)。
  1. Windows Media PlayerでWMA方式に圧縮したファイル
  2. 市販ソフトなどで作成したMP3方式のファイル

ご注意

- お客さまがインポートしたものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品およびパソコンの不具合によりインポートやダウンロードができなかった場合、および音楽データが破損または消去された場合の補償については、ご容赦ください。

主な特長

パソコンと音楽データの転送可能！

- USBドライバ不要で、簡単にパソコンに接続できます。
  （Windows 98SEは専用USBドライバのインストールが必要となります。→18ページ「USBドライバのインストール（Windows 98SEのみ）」参照）
- フロッピーディスクなどの代わりとしてパソコンデータの一時保存にも使えます。
- 本機で録音した音声ファイルはパソコンで再生できます。
  （本機付属のMusicFileMasterでも再生することができます。）
- パソコンからWMA（Windows Media Audio）ファイル、MP3ファイルを転送して本機で再生できます。

MusicFileMasterで音楽ファイル管理が可能！

- パソコンのハードディスク内のミュージックファイルを取り込んで本機へ転送し、転送した音楽ファイルを管理することができます。

FMチューナー内蔵！

- FMラジオを聞くことができます。また、放送内容を録音することもできます。

512MBまたは1GBメモリ内蔵で高音質長時間録音可能！

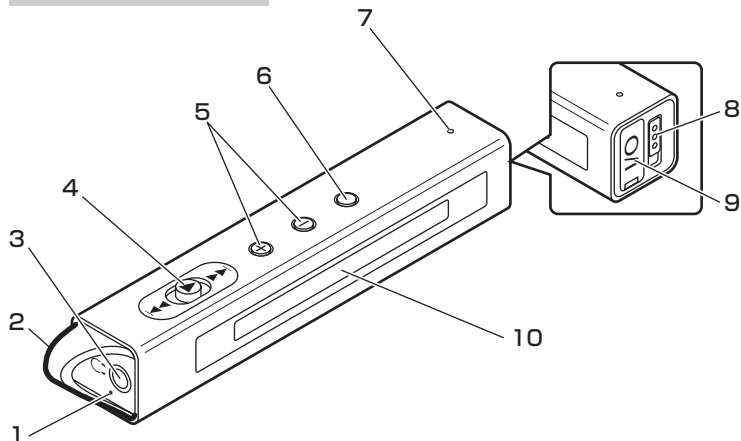
- 録音モードSP時の録音可能時間は以下の通りです。

DMP-M700	内蔵メモリ1GB	MP3音声データ	約71時間00分
DMP-M600	内蔵メモリ512MB	MP3音声データ	約35時間30分

  録音モードについては87ページの「録音可能時間について」を参照。

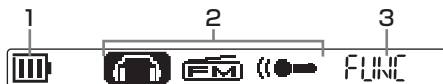
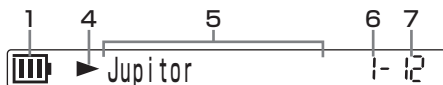
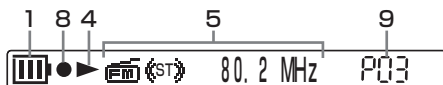
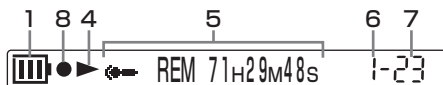
各部のなまえ

くわしくは、(　)内のページをご覧ください。

本体

1. 内蔵マイク
2. ストラップ取付
3. ステレオヘッドホン端子
   (58、91ページ)
4. **ジョグスイッチ**
   [POWER、⏮、▶、⏭]
   (59、61ページ)
5. VOL +/−ボタン(62ページ)
6. MODEボタン(61ページ)
7. RESETスイッチ(127ページ)
8. ◀ HOLDスイッチ(60ページ)
9. USB端子(23ページ)
10. 表示パネル(15ページ)

表示パネル

［すべての画面を一度に表示することはできません］

■ファンクション選択画面

■ (MUSIC) ファンクション

■ (FM) ファンクション

■ (VOICE) ファンクション

1. 電池残量
2. メニュー選択項目
3. メニュー項目名
4. 再生表示
5. 各種情報表示
   （録音可能時間、曲名、ファイル/フォルダ名、再生経過時間、再生総時間、FM周波数など）
6. ファイル番号
7. ファイル総数
8. 録音表示
9. FMプリセット番号

※ ファンクションとは、使用目的（音楽再生、FM、音声録音）ごとにわけられた動作モードです。

コントラストの調整

表示パネルのコントラストが調整できます。
107ページ「各種メニューの設定-コントラスト」参照。

動作環境の確認

USB接続時は自動的に充電状態になります(23ページ)。

本機および付属ソフトウェアの動作環境

本機をパソコンに接続して音楽データを取り込む場合、またはWindows Media Player をお使いいただくには、以下のようなパソコン環境や動作環境が必要になります。また、本書で説明するソフトウェアを使用するには、ソフトウェアに合った動作環境が必要です。

Windows Media Playerは付属のソフトウェアではありません。入手方法は、Microsoft社のホームページをご覧ください。

■ Windows搭載パソコン ■

NEC PC98-NX以外のNEC PC98シリーズ・Macintoshなど、Windowsを搭載していないパソコンや、自作パソコンでは動作保証いたしませんのでご注意ください。

対応機種	IBM PC/AT互換機
CPU	Celeron® 600MHzまたはPentium® Ⅲ 500MHz以上(Pentium Ⅲ 1GHz以上を推奨)
対応OS(日本語版)	Windows XP Professional Windows XP Home Edition Windows 2000 Professional Windows Millennium Edition(Me) Windows 98 Second Edition
ハードディスクの空き容量	100MB以上 (音楽データ扱い量に比例して、空き容量が必要)
RAM	128MB以上(256MB以上を推奨)
USBポート	本製品接続時に1つ必要
CD-ROM	専用ドライバや添付ソフトのインストールに必要 デジタル抽出可能なドライブ
サウンドボード	Windows®互換の16-bitをサポート

その他	スピーカーまたはヘッドホンが必要
インターネット音楽配信サービスを利用する場合	56kbpsモデムまたはLAN 環境でのインターネット接続環境

※ 上記は、2005年8月現在の動作環境です。最新の情報に関しては、Microsoft社にお問い合わせください。

ご注意

- 以下の環境での動作保証はいたしません。
  ーWindows 各OSからのアップグレード環境
  ーWindows 95、Windows NT、Windows 98
  ーWindows 各OSのデュアルブート環境
- 推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ご利用の環境によっては、スタンバイ、サスペンド※などのモードが正常に動作しない場合があります。その場合は、本機使用時にはそれらのモードを使用しないでください。
  ※ サスペンド：CPU、LCD、HDDなどを停止し、電力消費量を極限まで減らしている状態。スリープと異なり、CPUは停止しているがROMへの電力供給はされている状態。
- Windows 98SEは専用USBドライバが必要です。この専用USBドライバは付属CD-ROMに入っています。
- **ご使用環境にWindow Media Player 9.0以上でお使いください。**
- DRM10（著作権保護）には対応していません。
- Windows XP/2000をお使いの場合
  1. 管理者権限（Administrators）のユーザにてご使用ください。
  2. Windows XP/2000で導入された「**ダイナミックディスク**」には動作保証していません。
- 音楽CDから入手した音楽データは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

USBドライバのインストール(Windows 98SEのみ)

ここではお手持ちのパソコンに、Windows 98SE専用のUSBドライバをインストールする方法を説明します。

Windows XP/2000/Meをご使用の場合は、Windows標準ドライバが動作しますので、23ページを参考に本機をパソコンのUSBポートに接続してください。

※ 本機を接続したときに「'(ファイル名)' が見つかりません。」を表示した場合、Windowsシステムの CD-ROMを挿入して、必要なファイルをインストールしてください。

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する

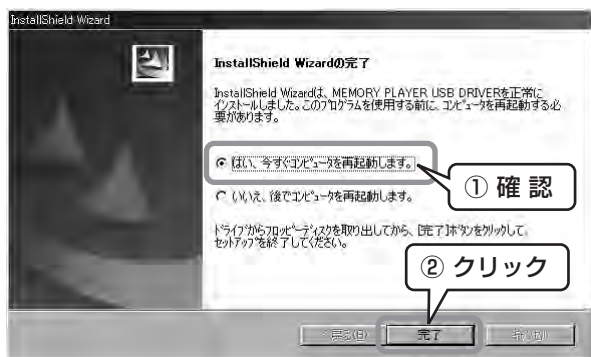
ご注意

- インストールするときは、Windowsの他のアプリケーションは終了しておいてください。

2 ドライバをパソコンにインストールする

1. 付属CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに挿入すると、自動的に**[メモリプレイヤーセットアップ]**画面が起動します。自動的に起動しない場合は、CD-ROM内の**[Setup.exe]**をダブルクリックしてプログラムを起動してください。

2. **[メモリプレイヤーセットアップ]** 画面から、**[USBドライバ]** をクリックします。
3. 画面の指示にしたがい、**[次へ]** をクリックしてください。

4. インストールが終了すると、以下の画面を表示します。**[はい、今すぐコンピュータを再起動します。]** を選択していることを確認し、**[完了]** をクリックしてパソコンを再起動してください。

これで、USBドライバがインストールされました。
本機をパソコンに接続するには、23ページをご覧ください。

MusicFileMasterをインストールする

ここではお手持ちのパソコンに、MusicFileMasterをインストールする方法を説明します。

※ **付属の専用USB接続ケーブルをパソコンから外しておいてください。**
※ 本書ではWindows XPで説明をしています。OSのバージョンやメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する

ご注意

- インストールするときは、Windowsの他のアプリケーションは終了しておいてください。

2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れる

付属CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに挿入すると、自動的に[**メモリプレイヤーセットアップ**]画面(18ページ参照)が起動します。自動的に起動しない場合は、CD-ROM内の[Setup.exe]をダブルクリックしてプログラムを起動してください。

3 MusicFileMasterをパソコンにインストールする

1. **[メモリプレイヤーセットアップ]**画面から、**[MusicFileMaster]**をクリックします。
2. 画面の指示にしたがい、**[次へ]**をクリックしてください。

3. 使用許諾契約の内容を確認後、**[はい]**(使用許諾契約に同意する)をクリックします。
使用許諾契約に同意されない場合は、MusicFileMasterはインストールされませんのでご注意ください。

4. ユーザー名を入力・確認後、**[次へ]**をクリックしてください。

パソコン操作編
MusicFileMasterをインストールする

5. MusicFileMasterをインストールするフォルダを設定します（ドライブのルート（C:¥、D:¥など）には、インストールしないでください）。
[インストール先のフォルダ]を確認後、**[次へ]**をクリックしてください。
※ インストール先のフォルダをとくに変更する必要がない場合は、①の選択をせず、②の**[次へ]**をクリックし、このままの場所にインストールされることを推奨します。

6. インストールが完了すると、以下の画面を表示します。
まず、CD-ROMドライブからCD-ROMを取り出してください。
[完了]をクリックしてからパソコンを再起動してください。

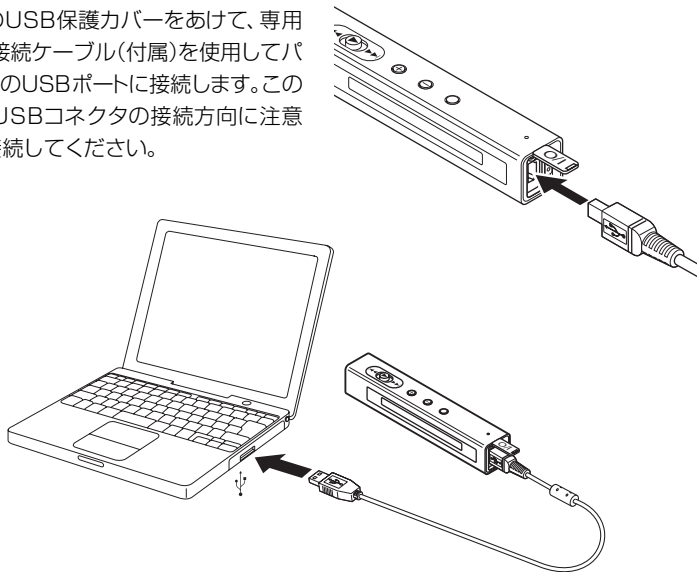
これでMusicFileMasterがインストールされました。

ご注意

● インストールしたフォルダおよびデスクトップの[マイドキュメント]-[MusicFileMaster]のフォルダはソフトウェア「MusicFileMaster」が使用します。削除、移動、内容の変更などはおこなわないでください。

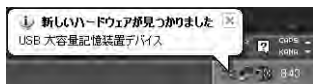
パソコンに接続する

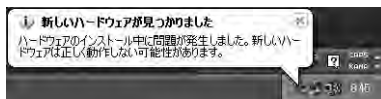
本機をパソコンに接続する

本機のUSB保護カバーをあけて、専用USB接続ケーブル(付属)を使用してパソコンのUSBポートに接続します。このとき、USBコネクタの接続方向に注意して接続してください。

ご注意

- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合は動作保証いたしません。必ず、付属の専用USB接続ケーブルのみで接続してください。
- パソコンと接続後、通信に失敗すると、本機の表示パネルに"CHARGE"と表示しますので再度接続するか、パソコンを再起動してください。
- 使用するパソコンにはじめて接続する時、まれにリムーバブルディスクとして認識しない場合があります。その時は再度接続してください。
- パソコンにUSBポートが複数ある場合(前面、背面など)は、USBポートによって正しく認識されないことがあります。その時は、別のポートに本機を接続してください。
- 接続された本機を抜き差しする時は、USBコネクタ部を持って抜き差ししてください。

はじめて本機をパソコンに接続すると

以下のような接続を表すメッセージが複数回表示されます。しばらくしてメッセージが消えるまで本機を取り外さないでください。

（画面はWindows XPです）

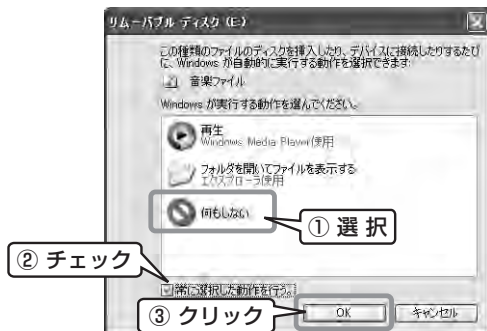
本機を接続したときに以下のメッセージを表示した場合は、次ページ「本機をパソコンから取り外す」を参考に本機をパソコンから一度取り外し、再度接続してください。

（画面はWindows XPです）

本機を接続したときにパソコンに何も表示しない場合は、109ページの「本機が正常に認識されているか確かめるには」を確認してください。

Windowsが実行する動作を選ぶ

Windows XPのみ接続後、以下の画面を表示します。

※ お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。

Windows 2000/Me/98SEに関しては、この操作はありません。

お客さまの使用環境に合わせて設定してください。
本書の例では［何もしない］を選択後、**［常に選択した動作を行う。］**にチェックし、**［OK］**をクリックしています。
これで、パソコンとの接続は完了です。

パソコンに接続している間、本機は以下のような画面になり、どの操作ボタンを押しても反応しません。

［パソコン接続時の本機表示］　**［パソコンとの通信中の本機表示］**

本機をパソコンから取り外すときは、下記の「本機をパソコンから取り外す」の作業を必ずおこなってください。通信表示中は本機をパソコンから抜かないでください。

本機をパソコンから取り外す

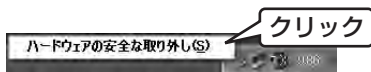
本機が通信中の表示になっていないことを確認してから下記の手順にしたがって取り外してください。

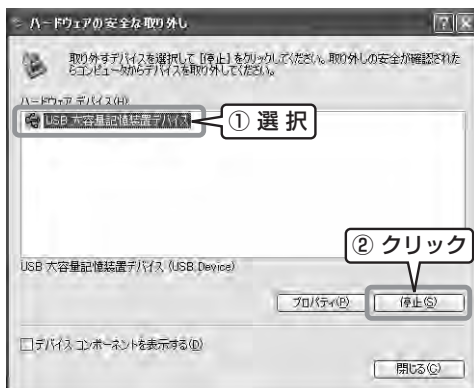
- **Windows 98SEをご使用の場合、本機をそのままパソコンから取り外してください。**
- **Windows XP/2000/Meをご使用の場合、次の手順で取り外してください。**
  OSによって若干画面表示が異なりますが、ご了承ください。
  （以降、説明で使用する画面はWindowsXPとなります）

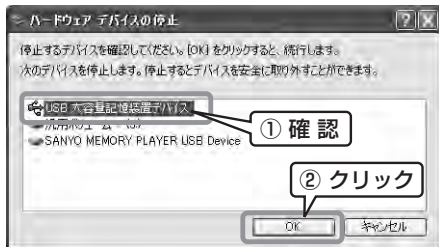
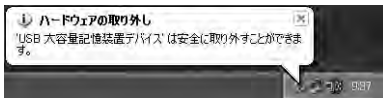
1 [タスクトレイ]のアイコンをクリックする

Windows画面右下の**[タスクトレイ]**のアイコンを右クリックします。

※ アイコンが表示されない場合は、Windowsのヘルプを参照してください。

2 表示された「ハードウェアの…」をクリックする

3 デバイスを選択し、[停止]をクリックする

[USB大容量記憶装置デバイス]を選択し、**[停止]**をクリックします。

停止するデバイスを確認し、[OK]をクリックする

[SANYO MEMORY PLAYER USB Device]が一覧内に表示されていることを確認し、**[USB大容量記憶装置デバイス]**を選択して、**[OK]**をクリックします。

本機が取り外し可能な状態になると、以下の画面を表示します(Windows XPのみ)。**[×]**をクリックするか、しばらくすると画面が消えます。

本機をパソコンから取り外す

パソコンのUSBポートから専用USB接続ケーブル(付属)を取り外し、本機のUSB端子からも専用USB接続ケーブル(付属)を取り外します。

本機が正常に認識されているか確認する

エクスプローラを起動する

本書と同じエクスプローラ画面でご使用になる場合は、以下の方法でWindowsの**エクスプローラ**を起動してください。

※ OSのバージョンやメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。
（説明で使用する画面はWindows XPとなります。）

[スタート]メニューから**[マイ コンピュータ]**、またはディスクトップ上の**[マイ コンピュータ]**を右クリックして、表示されるメニュー内の**[エクスプローラ]**を選択してクリックします。

これで、**エクスプローラ**が起動します。

2 リムーバブルディスクのフォルダを表示する

本機をパソコンに接続すると、Windowsのエクスプローラでマイコンピュータ内に、**リムーバブルディスクとして表示**します。
この**[リムーバブルディスク]**をクリックすると、内蔵メモリに記録した内容を表示することができます。本機が正常に認識されると以下のように表示します。

各フォルダの説明は、55ページ「本機のフォルダ/ファイルについて」をご覧ください。

ちょっとこれを!

- 複数のリムーバブルディスクを表示する場合は、本機を接続したときに新たに表示するリムーバブルディスクが本機であることを表します。
  本機をパソコンから一度取り外し、再接続してご確認ください。
- 本機をパソコンに接続したときにリムーバブルディスクを表示しない場合は、109ページ「本機が正常に認識されているか確かめるには」を参照し、確認作業をおこなってください。

デジタルミュージックプレーヤーで音楽を聞くには

本機で音楽を楽しむには、まずパソコンに音楽データを記録し、それを本機に転送する必要があります。

音楽データを記録するには

■ 音楽CDから作成する
■ インターネットなどの音楽配信サービスを利用する※1
の2通りがあります。

本機で再生できる形式は、次の2方式の音楽データです。
■ WMA方式の音楽データ※2
■ MP3方式の音楽データ

※1：音楽配信サービスをご利用いただくときは、そのサービスでサポートされている音楽データ方式が本機で再生できる方式であることを必ず確認してください。AAC方式やその他の記録方式には対応していません。
※2：Windows Media Player9以上（DRM10除く）のWMAデータにのみ対応します。一部のWMAデータは、本機や付属ソフトウェアで再生できない場合があります。

音楽CDから本機で再生可能な音楽データを作成する場合、記録方式（WMAまたはMP3）や使用するソフトウェアによって作成方法が異なりますが、本書ではWindows標準のWindows Media Playerを使用して音楽ファイルを作成する方法を紹介します。音楽ファイルの転送にはMusicFileMasterを使用しますので、事前に20ページ「MusicFileMasterをインストールする」を参考にインストールをおこなってください。

本機に音楽を記録するプロセス

1. 本機で再生可能な音楽ファイル（WMAまたはMP3）を作成する→31ページ
2. MusicFileMasterに音楽ファイルを取り込む→41ページ
3. MusicFileMasterを使って音楽ファイルを本機に転送する→46ページ

※ 本機に音楽ファイルを転送後、本機で音楽を再生するには、57ページ以降の「本体操作編」をご覧ください。

音楽ファイルを作成する(CDリッピング)

本機で再生可能な音楽ファイル(WMAまたはMP3)を作成する

ご注意

● お客様が作成したMP3･WMA形式ファイルは個人として楽しむ他は著作権上、権利者に無断で使用することができませんのでご注意ください。

ここでは、Microsoft Windows Media Playerを使って音楽CDの曲をWMA(またはMP3)形式に変換してパソコンに取り込む方法について説明します。

操作の方法について詳しくは、Windows Media Playerのオンラインヘルプをご覧ください。

※ OSのバージョンやメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。
(説明で使用する画面はWindows XP/Windows Media Player 9となります。)

※ お使いのパソコン環境によっては、Windows Media Player使用中にダイアルアップ接続画面を表示する場合がありますが、その場合はインターネットに接続してください。

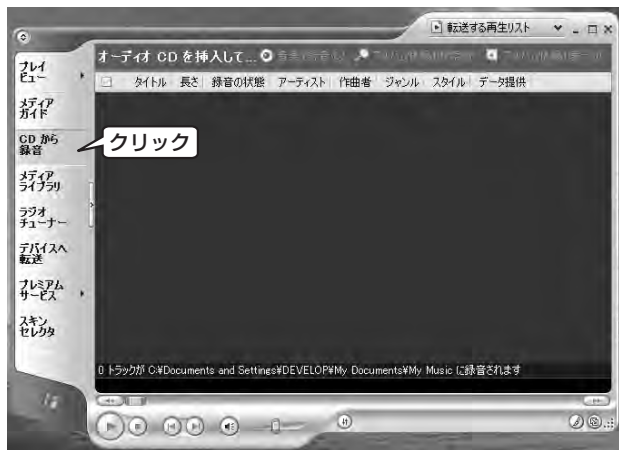
※ Windows Media Player 10につきましては、弊社Webサイト"http://www.sanyo-audio.com/support/dmp/guide.html"のサポートページに各種情報を掲載していますので、そちらを参照してください。

● **Windows Media Playerの入手方法の詳細は**
http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/をご覧ください。

1 Windows Media Playerを起動する

[スタート]メニューから**[すべてのプログラム]**－**[Windows Media Player]**を選択して、Windows Media Playerを起動します。

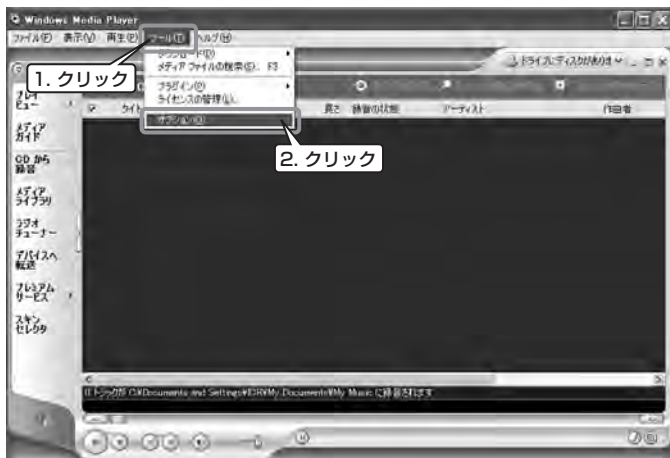
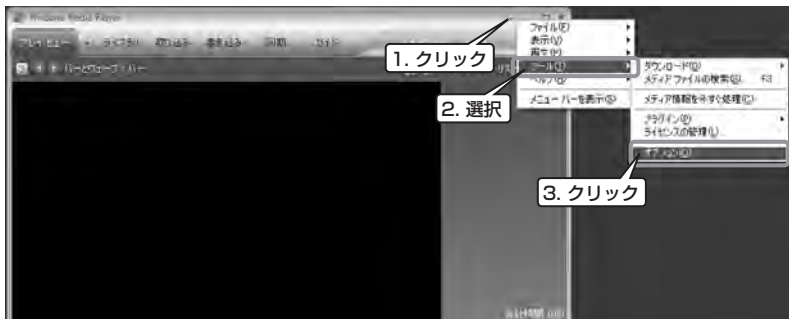
2 [CDから録音]をクリックする

● Windows Media Player 10上の表示：**[取り込み]**

3 音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブに挿入する

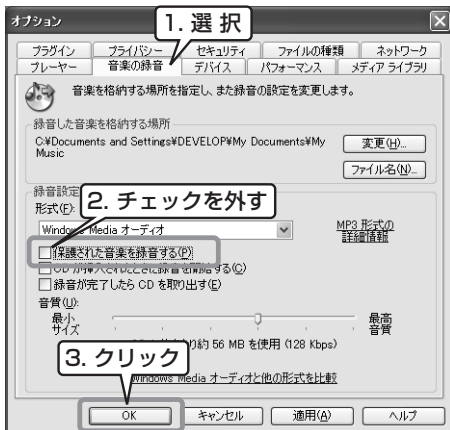
お使いのパソコンがインターネット接続環境にある場合、自動的にインターネットから音楽CDの曲情報を入手して表示します。表示されない場合は**[アルバム情報の検索]**をクリックしてください。
インターネットに接続していない場合や、CDの種類によっては曲情報を表示しない場合もあります。

● Windows Media Player 10上の表示：**[アルバム情報の検索]**

4 [ツール]－[オプション]とクリックする

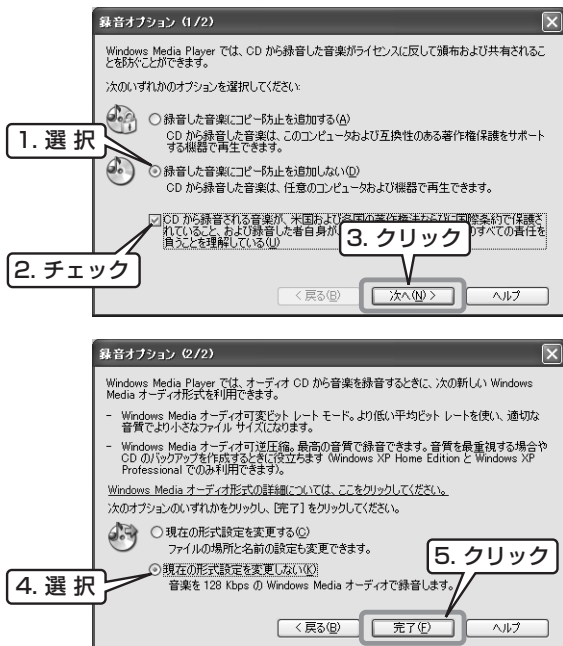
画面上部のメニューから**[ツール]－[オプション]**とクリックし、オプション画面を表示させせます。

● Windows Media Player 10の場合：下図のようにWindows Media Playerの画面右上にある ▼ ボタンをクリックし、表示されたメニューから**[ツール]－[オプション]**をクリックします。

[音楽の録音]タブより、[保護された音楽を録音する]のチェックを外す

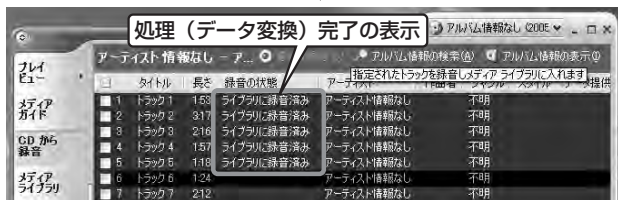
チェックを外した後、**[OK]**をクリックしてください。

- Windows Media Player 10の場合：**[音楽の取り込み]**タブより、**[取り込んだ音楽を保護する]**のチェックを外し、**[OK]**をクリックします。

6 パソコンに取り込みたい曲を選択する

パソコンに取り込みたい曲をチェックして、**[音楽の録音]**をクリックします。

● Windows Media Player 10上の表示：**[音楽の取り込み]**

※ Windows Media Player 10をお使いの場合、下記のような画面を表示する場合があります。その際は、画面通りチェックをつけて**[完了]**をクリックしてください。

● 上記チェック項目「現在の形式設定を変更しない」下部にある、「音楽を XXX kbps の XXXXXX で取り込みます」のXXの部分は、手順5で指定した設定により表示が異なります。

7 取り込み(データ変換)が開始される

選択した曲がすべて[ライブラリに録音済み]と表示されたら、取り込み終了です。

● Windows Media Player 10の場合:「ライブラリに取り込み済み」で、CDの内容がWMA(またはMP3)形式に変換されてパソコンに取り込まれます。

Windows Media Playerを使用して取り込まれた音楽データは、初期設定では**[マイドキュメント]**内の**[マイ ミュージック]**に保存されています。

パソコンに取り込まれた音楽データを本機に転送するには、41ページの「本機に音楽ファイルを転送する」を参照ください。

MusicFileMasterについて

MusicFileMasterとは

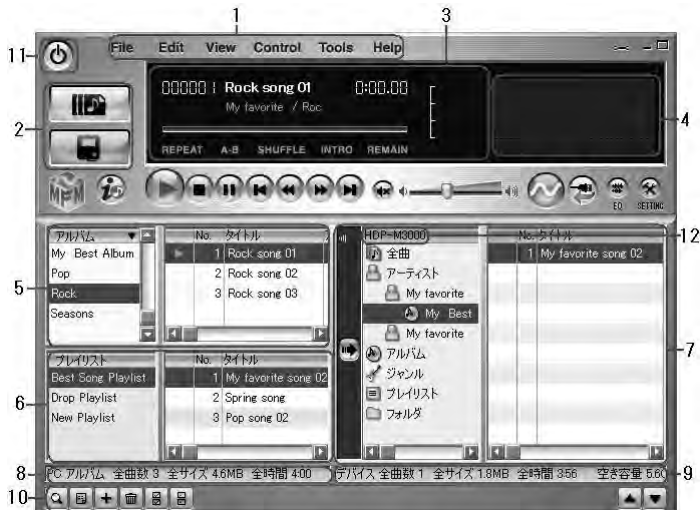
パソコンのハードディスク内のミュージックファイルを自由に選んで、MusicFileMasterに取り込み(インポート)、音楽ファイルを管理(ライブラリ機能)することができます。また、それらの楽曲をポータブルデバイス(本機)へ転送し、ポータブルデバイス(本機)に転送した音楽ファイルを管理(ライブラリ機能)することができるソフトウェアです。

MusicFileMasterでは目的に応じて2つのモードを切り換えて操作します。

1. ライブラリモード: ミュージックファイルの再生、管理、プレイリストの作成をおこなう
2. ポータブルデバイスモード: ポータブルデバイスへミュージックファイルの転送、管理およびポータブルデバイスのミュージックファイルの再生などをおこなう

● Music File MasterではCDリッピングできません。Windows Media Playerなどでリッピングし、あらかじめ音楽ファイルを作成してください。

MusicFileMasterウインドウの各部のなまえ

くわしくは、オンラインヘルプ(40ページ)をご覧ください。

1. **メニューバー**
   各操作メニューを表示します。メニュー内容は、モードにより異なります。
2. **モード切替ボタン**
   MusicFileMasterのモードを切り替えます。
3. **ミュージックファイルの情報表示**
   ミュージックファイルのタイトル、時間などの情報を表示します。
4. **スペアナ表示**
   スペクトラムアナライザー表示します。
5. **ライブラリ**
   パソコン側のミュージックファイルのリストを表示します。
   [ライブラリ]モードで表示されます。表示は、[全曲]、[アーティスト/アルバム]、[ジャンル]、[フォーマット]別に表示することができます。
6. **プレイリスト**
   パソコン側のライブラリのミュージックファイルを自由に組み合わせ作成したプレイリストを表示します。
7. **ポータブルデバイス(本機)側のライブラリ**
   ポータブルデバイスの楽曲情報一覧を表示します。
   本機側にはライブラリとプレイリストとフォルダがあり、選択できます。
8. **パソコン側楽曲情報表示**
   パソコン内で管理しているライブラリの全曲数、全サイズ、全時間を表示します。
9. **デバイス側楽曲情報表示**
   ポータブルデバイス内で管理しているライブラリの全曲数、全サイズ、全時間、空き容量を表示します。
10. **リストコントロールボタン**
    リストを操作するボタンです。
11. **終了ボタン**
    MusicFileMasterを終了するボタンです。
12. **デバイス名表示**
    デバイスの製品名を表示します。

オンラインヘルプを表示するには

● MusicFileMasterを起動した状態で、**[Help]**メニューから**[目次]**を選択して、くわしい説明の項目をご覧ください。

MusicFileMaster OnlineManual - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 検索 お気に入り

アドレス(D) C:¥Program Files¥Sanyo¥MusicFileMaster¥Help¥index.htm 移動 リンク

MusicFileMaster Online Manual

MusicFileMaster OnlineManual

MusicFileMasterについて

基本操作
モード別のウィンドウ構成
各モードの設定(オプション)
目的別リファレンス
トラブルシューティング
ショートカット一覧
キーワード
仕様

MusicFileMasterユーザーサポートについて

Copyright(c) 2005 SANYO Technosound Co., Ltd. All rights reserved.

ページが表示されました　マイ コンピュータ

ちょっとこれを!

MusicFileMasterで楽曲再生する場合、2GB以上のファイルはサポートしておりませんので、再生位置スライダーを2GBを超える位置に移動すると“ファイルの先頭よりも前にファイルポインタを移動しようとしました。”とエラーメッセージを表示して、再生が停止します。

本機に音楽ファイルを転送する

MusicFileMasterに音楽ファイルを取り込む

ここでは、WMA(またはMP3)形式の音楽ファイルをMusicFileMasterのライブラリに取り込む方法について説明します。

※ OSのバージョンやメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。
(説明で使用する画面はWindows XPとなります。)

ご注意

- DRM付き(セキュリティ保護されている)WMAファイルはMusic File Masterに取り込めません。
  ① 音楽CDからパソコンへ録音する場合は、Windows Media Playerの設定を変更してください。(33、34ページ参照)
  ② DRM付コンテンツを再生する場合は、Windows Media Playerでデバイス(本機)に転送してください。詳しくは下記の弊社Webサイトにアクセスしてください。
  http://www.sanyo-audio.com/support/dmp/guide.html
- MP3・WMA形式のファイルでも、本機で正常に取り込めない、また取り込んでも再生できない場合があります。
- お客様が転送したMP3・WMA形式ファイルは個人として楽しむ他は著作権上、権利者に無断で使用することができませんのでご注意ください。

1 本機をパソコンのUSBポートに接続する

23ページ「本機をパソコンに接続する」参照。

2 MusicFileMasterを起動する

デスクトップに作成された**[MusicFileMaster]**アイコンをダブルクリックして、MusicFileMasterを起動します。

ご注意

- 起動するときは、Windowsの他のアプリケーションを終了させておくことを推奨します。

3 音楽ファイルを取り込む場所を選択する

Music File Masterでは音楽ファイルの取り込む場所をパソコン側のライブラリ(1)とプレイリスト(2)、本機側のライブラリ(3)とプレイリスト(4)、フォルダ(5)から選択できますが、ここではパソコン側のライブラリ(1)を選択します。
各ウィンドウの説明は、38、39ページ「MusicFileMasterウインドウの各部のなまえ」をご覧ください。

パソコン側　　本機側

※ パソコン側のライブラリやプレイリストに取り込む場合は、本機を接続しなくても取り込めます。

4 音楽ファイルの取り込み方法を選択する

[File]メニューから**[追加]**を選択し、**[ファイル]**または**[フォルダ]**を選択します。

① クリック

② いずれかをクリック

※ファイル..... 選択した音楽ファイルだけ取り込みます。
　フォルダ..... 選択したフォルダ内にある全ての音楽ファイルを取り込みます。

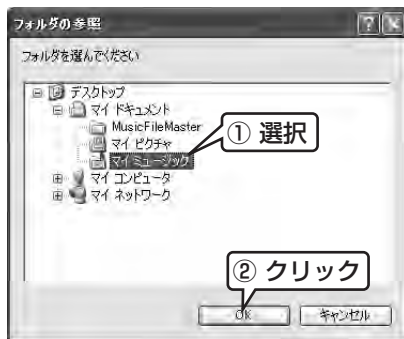
ちょっとこれを!

- Windows Media Playerを使用して取り込んだ音楽ファイルは、初期設定では[マイドキュメント]内の[マイミュージック]に保存されています。
- Windows Media Playerで取り込んだ音楽ファイルの保存先は、Windowa Media Playerを起動して[ツール]ー[フォルダオプション]ー[音楽の録音]ー[録音した音楽を格納する場所]で確認できます。(Windows Media Player 9の場合)

4-1 「ファイル」を選択した場合

取り込みたい音楽ファイルがあるフォルダを開き、その中の音楽ファイルを選択して**[開く]**をクリックします。

4-2 「フォルダ」を選択した場合

取り込みたい音楽ファイルがあるフォルダを選び、**[OK]**をクリックします。

5 取り込みを開始する

<取り込み中(コピー中)の表示>

ライブラリウィンドウ(1)に音楽ファイルが表示されれば、取り込み完了です。

取り込み完了です

1

MusicFileMasterを使って音楽ファイルを本機に転送する

ここでは、MusicFileMasterに取り込んだWMA(またはMP3)形式の音楽ファイルを本機に転送する方法について説明します。

※ OSのバージョンやメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。
(説明で使用する画面はWindows XPとなります。)

ご注意

- 本機では、MUSICフォルダの下2階層までにあるMP3やWMAが再生できます。
- Windows Media Playerやエクスプローラを使って音楽データを転送した場合は、本機での再生モードの選択がフォルダ別検索のみとなり、全曲、アーティスト、アルバムやジャンルごとに音楽ファイルを再生することができません。(再生モードについては63ページ参照)
- MusicFileMasterで転送したファイル(音声・FM放送)は、本機のMusicフォルダに転送されます。

1 本機をパソコンのUSBポートに接続する

23ページ「本機をパソコンに接続する」参照。

2 MusicFileMasterを起動する

デスクトップに作成された**[MusicFileMaster]**アイコンをダブルクリックして、MusicFileMasterを起動します。

ご注意

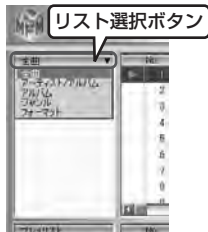
- 起動するときは、Windowsの他のアプリケーションを終了させておくことを推奨します。
- 転送中は絶対に本機をパソコンから取り外さないでください。

3 転送する音楽ファイルと転送先を選択する

ライブラリ内の転送したい音楽ファイルを選択(①)し、本機側の転送先を選択します。ここでは、本機側のライブラリに転送します。全曲(②)を選択して全曲(②)に転送します。

① 選択
② 選択
③ クリック
④ クリック

ちょっとこれを!

- 画面③番の「すべてを選択」ボタンをクリックすると、選択中のライブラリ内の音楽ファイルをすべて選択できます。また、画面④の「すべて解除」ボタンをクリックすると、選択中のライブラリ内の選択中ファイルを解除できます。
- ライブラリのリスト選択ボタンをクリックすると、[全曲]、[アーティスト/アルバム]、[アルバム]、[ジャンル]、[フォーマット]ごとに音楽ファイルを表示できます。

音楽ファイルを転送する

転送ボタンをクリックして音楽ファイルを転送します。

（1）の欄に転送された曲が入っていれば、転送完了です。

ご注意

- 転送中に本機をパソコンから取り外さないでください。データが壊れてしまうことがあり、故障の原因にもなります。

5 楽曲管理ファイルを作成する

楽曲管理ファイルの作成ボタンをクリックします。
楽曲管理ファイルを作成すると、本機でアーティストやアルバム、ジャンルごとに音楽ファイルの検索・再生ができるようになりなす。

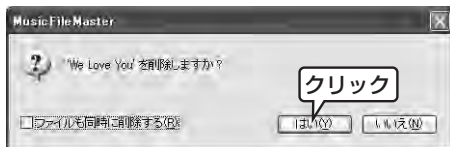
6 画面左上の[⏻]をクリックしてMusicFileMaster終了する

7 本機をパソコンから取り外す

25ページ「本機をパソコンから取り外す」参照。

● パソコン側のライブラリから曲を削除したい場合

1 ライブラリウィンドウで、削除したい曲を選択し、画面左下の「ゴミ箱」アイコンをクリックします。

2 以下の画面が表示されるので、「はい」をクリックします。

※ ここで、「ファイルも同時に削除する」にチェックを入れると、ライブラリ上からだけでなく、パソコンのハードディスクからもファイルが削除されます。

● **本機に転送した音楽ファイルを削除したい場合**

1 ポータブルデバイス側のライブラリウィンドウから削除したい曲を選択し、画面左下の「ゴミ箱」アイコンをクリックします。

本機で録音したデータをパソコンに転送する

MusicFileMasterを使って音声データをパソコンに転送する

ここでは、MusicFileMasterを使用して本機で録音した音声ファイルをパソコンに保存する方法について説明します。

※ OSのバージョンやメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。
（説明で使用する画面はWindows XPとなります。）

1 本機をパソコンのUSBポートに接続する

23ページ「本機をパソコンに接続する」参照。

2 MusicFileMasterを起動する

デスクトップに作成された**[MusicFileMaster]**アイコンをダブルクリックして、MusicFileMasterを起動します。

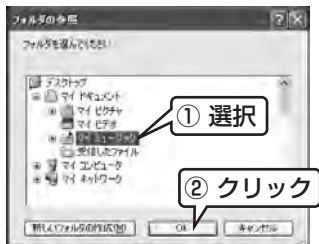
ご注意

- 起動するときは、Windowsの他のアプリケーションを終了させておくことを推奨します。

3 録音フォルダのバックアップを選択する

本機側のフォルダを右クリックし、**「録音フォルダのバックアップ」**を選択してクリックします。

保存場所を指定する

「フォルダの参照」が開くので、保存したい場所を指定して[OK]をクリックします。

本機をパソコンから取り外す

25ページ「本機をパソコンから取り外す」参照。

MusicFileMasterでは、本書に掲載している内容以外にも以下のような操作がおこなえます。詳しくはオンラインヘルプ(40ページ「オンラインヘルプの使いかた」参照)をご覧ください。

・ 音楽ファイルのファイル情報(アーティスト名やアルバム名など)を変更する
・ 聴きたい曲を選び、好きな順番で再生できるプレイリストを作成する
・ イコライザを切り換えて、お好みの音質で音楽を再生する

なお、弊社Webサイトにて本商品のよくあるご質問や便利に使用するための活用ガイドを掲載しております。ディスクトップ上の「SANYO DIPLY MUSICユーザーサポート」アイコンをダブルクリックするか、またはInternet Explorerにてアドレスボックスに“http://www.sanyo-audio.com/support/”を入力いただくとアクセスできますので、お問い合わせの際にはぜひご参照ください。

本機のフォルダ/ファイルについて

Music File Masterで本機に転送するファイルは全てMUSICフォルダに保存されます。

[MUSICフォルダ]

パソコンから転送するファイルを保存するフォルダです。

● 転送するファイル名はどのようなものでも構いませんが、MP3形式、またはWMA形式のファイルに限ります。

● MUSICフォルダ内にMP3形式、またはWMA形式のファイルを追加した場合に関しては再生順が変わる場合があります。
また、MUSICフォルダの1つ下に作成したフォルダも同様に再生順が変わる場合があります。

● MUSICフォルダの下にお好みのフォルダを作成して、アルバムごとや歌手ごとにファイルを入れることができます。
MUSICフォルダの下に、2階層までのサブフォルダに含まれるファイルを再生することができます。

[RECORD - FMフォルダ]

本機にてFM放送を録音したファイルを保存するフォルダです。
パソコンに保存したFMフォルダのデータを、再度本機のMUSICフォルダに転送して再生できます。

● 内蔵メモリに録音したファイルは、"IC_R_XXX(ファイル番号).MP3"というファイル名で、FMフォルダ内に保存されます。

● FMフォルダは最大255ファイルまで保存できます。

● FMフォルダ内のファイルは、決められたファイル名の規則にしたがっているものだけ再生できます。
ファイル名を変更すると、そのファイルはFMモードでは再生できなくなりますのでご注意ください。(ファイル名を変更したファイルはMUSICフォルダに転送すると再生できます。)

[RECORD - VOICEフォルダ]

本機にて音声を録音したファイルを保存するフォルダです。

パソコンに保存したVOICEフォルダのデータを、再度本機のMUSICフォルダに転送して再生できます。

- 内蔵メモリに録音したファイルは、"IC_V_XXX(ファイル番号).MP3"というファイル名で、VOICEフォルダ内に保存されます。
- VOICEフォルダは最大255ファイルまで保存できます。
- VOICEフォルダ内のファイルは、決められたファイル名の規則にしたがっているものだけ再生できます。
  ファイル名を変更すると、そのファイルはVOICEフォルダでは再生できなくなりますのでご注意ください。(ファイル名を変更したファイルはMUSICフォルダに転送すると再生できます。)

[DATAフォルダ]

リムーバブルディスクとして、(EXCEL・WORDなどの)データファイルを保存するフォルダです。
本機ではDATAフォルダに音声や曲ファイルを入れて再生することはできません。

[USERPSET.ICR]

FMのユーザープリセット情報を記憶するファイルです。エリアバンドを"USER"に設定する場合に使用します。

[INFSYS.SPR]

パソコンの設定で隠しファイルが見えるように設定している場合、USB接続するとこのファイルを見ることができますが、このファイルを削除すると、MusicFileMasterで認識されなくなります。ファイルを削除してしまった場合は、一度本機の接続を取り外し、電源を入れた後、再度接続してください。

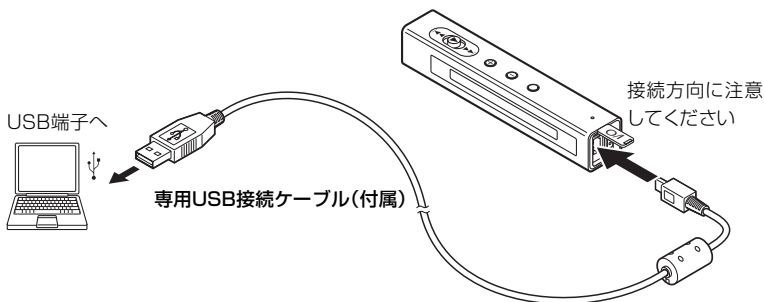
本機データのフォーマットについて

フォーマットをおこなう場合、必ず本機でおこなうようにしてください。
パソコンでフォーマットをおこなうと、録音が正常にできない場合があります。
フォーマットするには99ページの「**全データを消去する(フォーマットする)**」をご覧ください。
パソコンでフォーマットをしてしまった場合は、本機でフォーマットをやり直してください。

お使いになるまえに

充電池を充電する

本機を初めてご使用になる場合は、本体内蔵の充電池を必ず充電してください。また、充電池が消耗した場合も同様に充電してください。充電時間は約2時間です。充電するにはパソコンにつないでUSB充電します。

1. 付属の専用USB接続ケーブルの小さい方のUSBコネクタ部分を本機のUSB端子部に、もう一方のUSBコネクタ部分をパソコンのUSB端子に接続します。
   - 充電を開始します。

ちょっとこれを!

- パソコンに接続中は本機を操作することができません。
- 以下の状態のときはUSB充電しない場合があります。
  1. パソコンが休止状態のモードになったとき
  2. パソコンを再起動したとき
- 本機の電源が入っている状態でパソコンに接続して、接続を外すと本機の電源はオフになります。

充電表示について

充電中は表示パネルに“電池残量表示”を表示し、電池マークが以下のように順番に切り換わります。充電が終了すると、表示パネルの“ 🔋 ”を表示します。

ご注意

- 充電中に充電池があたたかくなることがありますが、異常ではありません。
- 充電時間は充電池の使用状態により異なります。
- データ転送中でもUSB充電はできますが、使用状況によっては充電完了後の再生時間が短くなることがあります。
- はじめて充電するときや、長時間使用しなかった後では、充電時間が長くなったり、充電しても通常の使用時間より短いことがあります。何回か再生/充電を繰り返すと通常の状態に戻ります。
- 電池の容量が少ないのに充電が終了してしまう場合、充電池の寿命が考えられます。
- 充電池の不良と考えられる場合は、販売店にご相談ください。
- 充電は周囲の温度が5～35℃の環境でおこなってください。
- PC接続中に電池マークが点滅している場合は充電できません。ご購入の販売店などにご相談ください。

電池残量表示

電池残量は、表示パネルの電池残量表示で確認してください。

電池残量表示が ▭ を点灯したら

充電池を充電してください。

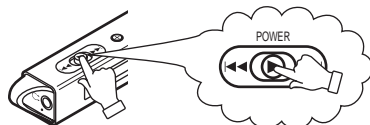
“LOW BATTERY”表示後　表示パネル表示消灯 ———► 電池切れ

ステレオヘッドホン（付属品）を使用する

ステレオヘッドホン端子に差し込んでください。ヘッドホンはFM受信時のアンテナも兼ねています。

操作前準備

電源を入/切にする

ジョグスイッチ(POWER)を押す

表示パネルのバックライトが点灯し、"HELLO!"を表示して電源がオンになります。電源を切る前に選択していたファンクション(動作モード)を表示します。(レジューム機能)

● バックライトの点灯時間や点灯色が選択できます。
107、108ページ「各種メニューの設定 - バックライトカラー、バックライト時間」参照。

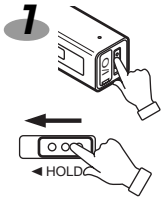
再度**ジョグスイッチ(POWER)**を2秒以上押すと、"SEE YOU!"を表示し、電源がオフになります。

オートパワーオフ機能

● 電源が入った状態で、再生や録音をせずに約15分間放置すると、自動的に電源が切れます(FM放送受信時は、オートパワーオフ機能は働きません)。

レジューム機能

電源を切る前に選択していた動作モードや周波数、またファイルの再生を停止した位置を記憶しています。
次に電源を入れたときは同じ周波数やファイル位置で停止していますので、同じ放送局やファイルの続きから再生を開始することができます。

● ファンクションを切り換えたり、パソコンに接続するとレジューム機能は解除され、同じ放送局やファイルの続きから再生を開始することはできません。

誤動作を防止する（ホールド機能）

録音または再生中などに誤ってボタンを押し、動作を中断することを防ぎます。

操作とはたらき

1

HOLDスイッチを矢印の方向に切り換える

- "HOLD ON"を表示し、ホールド機能がはたらきます。
- ホールド機能中に、操作ボタンを押すと、"HOLD ON"を表示し、各ボタンは機能しません。

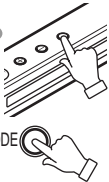
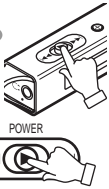
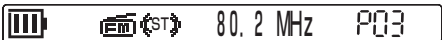
2

HOLDスイッチを矢印の反対方向に切り換える

HOLD OFF　1-23

- "HOLD OFF"を表示し、ホールド機能を解除します。

ビープ音（BEEP）の有無を選択する

ボタンを押したときのビープ音の有無を選択できます。
初期設定ではビープ音が「ON」になっています。
ビープ音が出るのはボタン操作時です。ボタン操作以外ではビープ音は鳴りません。
106ページ「各種メニューの設定 - BEEP音設定」参照。

ファンクション(動作モード)を切り換える

操作とはたらき

1 停止状態でMODEボタンを2秒以上押す

● 大分類メニュー選択画面を表示します。

2 「Function」が表示されていることを確認してジョグスイッチを押す

● ファンクション選択画面を表示します。

3 ジョグスイッチをスライドさせて希望のファンクションを選択する

スライドするたびに以下の順に切り換わります。

「(Musicファンクション)」
パソコンから転送した音楽ファイル(MP3/WMA形式)を再生するモード

「(FMファンクション)」
FM放送を受信・録音または、録音したFM放送を再生するモード

「(Voiceファンクション)」
音声を録音したり、録音した音声を再生するモード

4 ジョグスイッチを押す

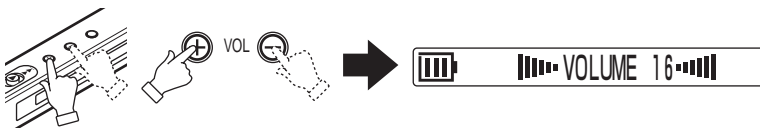
80. 2 MHz P03

● 選択したファンクションに切り換わります。

本体操作編

操作前準備

音量を調節する

● VOL ＋/－ボタンを押すと、下の画面を表示し、音量が調節できます。

● 音量レベル0～20の範囲で調節できます。

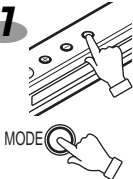
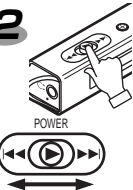
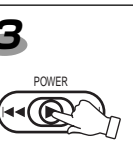
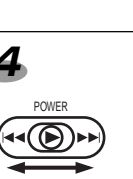
本機の状態とスイッチ/ボタンの割り当て

押すボタン	操作	停止中		
		Musicファンクション	Voiceファンクション	FMファンクション
MODE	軽く	画面表示切り換え	画面表示切り換え	－（ププ音）
	長押し	メニュー表示	メニュー表示	メニュー表示
POWER	軽く	再生開始	動作選択表示	動作選択表示
	長押し	電源オフ	電源オフ	電源オフ
POWER	軽く	ファイル選択※1	ファイル選択※1	プリセット選択
	長押し	ファイル選択(連続)	ファイル選択(連続)	マニュアルチューニング

押すボタン	操作	再生中		録音中
		Music/FMファンクション	Voiceファンクション	
MODE	軽く	画面表示切り換え	画面表示切り換え	－
	長押し	メニュー表示※2	－	－
POWER	軽く	再生停止	再生停止	録音停止
	長押し	電源オフ	電源オフ	－
POWER	軽く	ファイル送り・戻し	ファイル送り・戻し	－
	長押し	早送り・早戻し	早送り・早戻し	－

※1: ファイルがない場合は（ププ音）が鳴ります。

※2: 再生中のメニュー表示は、SOUND EQ、BASS、REPEATのみとなります。

● （ププ音）は、BEEP音設定で、警告音が「ON」のときに鳴ります。
106ページ「各種メニューの設定 - BEEP音設定」参照。

音楽を楽しむ(Musicファンクション)

音楽ファイル(MP3/WMA形式)を再生する

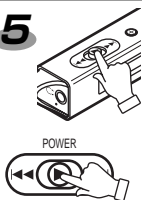
準備:Musicファンクションを選択します(61ページ)。

再生モードを選ぶ

	操作とはたらき
	停止状態でMODEボタンを2秒以上押す ● 大分類メニュー選択画面を表示します。
	ジョグスイッチをスライドさせて「Music Setting」を選択する Music Setting
	ジョグスイッチを押す SOUND EQ MUSIC ● Musicメニュー選択画面を表示します。
	ジョグスイッチをスライドさせて「PLAY SELECT」を選択する PLAY SELECT MUSIC

操作とはたらき

5

ジョグスイッチを押す

 ◀ LIST FOLDER ALL ▶ MUSIC

- 再生モードの選択画面を表示します。
- 上記の画面が表示されない場合、ファンクションがMusic以外になっていますのでMusicファンクションを選択してください(61ページ)。

ジョグスイッチをスライドさせて検索したい再生モード(ALL、ARTIST、ALBUM、GENRE、PLAY LIST、FOLDER)を選択する

※ 詳しくは66ページ「Musicファンクションの構成について」参照。

7

例として「ALBUM」でジョグスイッチを押す

♪Greatest Hits MUSIC

- 選択した再生モードの対象項目を表示します。「ALL」または「FOLDER」を選択したときは手順 9 に進みます。
- MODEボタンを押すと手順 6 にもどります。

8

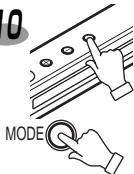
ジョグスイッチをスライドさせて再生したい項目を選択する

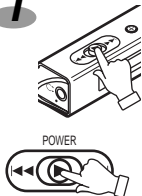
- 長い曲名やファイル名は、スクロール表示します。
- MODEボタンを押すと手順 6 にもどります。

9

ジョグスイッチを押す

PLAY SELECT MUSIC

- Musicメニュー選択画面に戻ります。

	操作とはたらき
10	**MODEボタンを2度押して、MUSICモードの状態に戻る** Jupitor 1- 12 ● 手順 **6** ～ **9** で選択した項目内の曲名またはファイル名をを表示します。

2 再生する

	操作とはたらき
1	**ジョグスイッチを押す** ► Jupitor 1- 12 表示パネルに“ ► ”を表示し、再生を開始します。 再生中はファイル番号/ファイル総数と曲名またはファイル名をを表示します。 ● 長い曲名やファイル名は、スクロール表示します。 ● 再生中にMODEボタンを押すと、リピート/ランダムの状態と再生経過時間、ファイル番号を表示し、更にMODEボタンを押すと、アニメーション表示します(101ページ)。

ご注意

- 容量の大きいファイルは、ボタンを押してから動作するまでの時間が少しかかることがあります。また、ファイル数が極端に多い場合も、ボタンを押してから動作するまでの時間が少しかかることがあります。
- MP3・WMAファイルによっては、再生時間表示と実際の再生時間が異なることがあります。
- MP3・WMA形式のファイルでも、本機で正常に再生できない場合があります。
- 音楽ファイルによっては曲名が登録されていても、曲名が表示されない場合があります。

ちょっとこれを!

- 再生モード選択でALL(全て)を選択した場合は、全曲(ファイル)をさしています(ARTIST、ALBUM、GENRE別にある全てのファイル)。
- あまりに多くの曲を入れると動作の低下をまねきます。
- 再生中に再生モードの変更はできません。

Musicファンクションの構成について

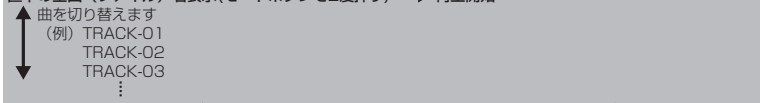
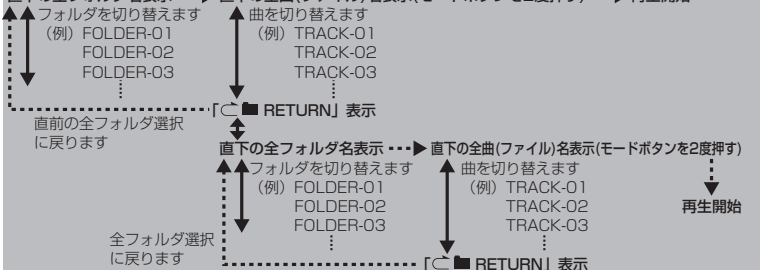
Musicファンクションでは**ジョグスイッチ**をスライドさせてファイルやフォルダを選択し、**ジョグスイッチ**を押してフォルダを決定したり、ファイルの再生をおこないます。
また、「Music Setting」で「PLAY SELECT(再生モード選択)」を変更することで、アーティスト、アルバム、プレイリスト、フォルダごとに音楽ファイルを検索・再生できます。

以下の説明図では「➡：ジョグスイッチをスライドさせる」、「‥▶：ジョグスイッチを押す」という操作で説明します。

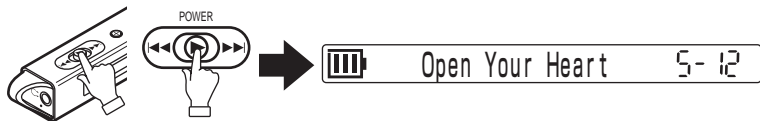
■ 再生モード(PLAY SELECT)で「ALL」を選択した場合

メモリ内の全てのファイルを表示します。**ジョグスイッチ**を左右にスライドさせて曲を選択し、MODEボタンを2度押してから**ジョグスイッチ**を押して再生を開始します。

■ 再生モード(PLAY SELECT)で「ARTIST」、「ALBUM」、「GENRE」、「PLAY LIST」を選択した場合

（例：ARTIST選択時）
選択したアーティストの全曲ファイル名を表示(モードボタンを2度押す) ‥▶ 再生開始
曲を切り替えます
（例）TRACK-01
TRACK-02
TRACK-03
⋮

※ FOLDERモードでは、選択中のフォルダ内にファイルとフォルダが混在している場合、ファイル→フォルダの順に表示します。
※ 表示中の項目がファイルの場合は曲名(またはファイル名)のみ表示され、フォルダの場合は先頭に“ 📁 ”を表示します。

再生を途中で停止するには

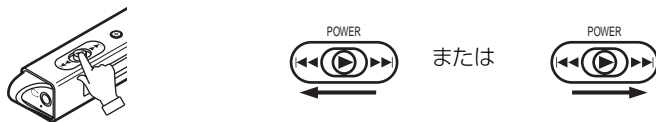
再生中にジョグスイッチを押す

再生していたファイル番号/ファイル総数と録音可能時間または曲名(またはファイル名)を表示します。

● 長い曲名やファイル名は、スクロール表示します。

再度、**ジョグスイッチ**を押すと、続きから再生を再開します。

再生を早送り・早戻しするには

再生中に、ジョグスイッチを |◀◀ または ▶▶| 方向にスライドして、1秒以上押し続ける

または

現在再生しているファイルを早送り・早戻しします。

■ **早送り(▶▶|)**

ファイルの最後まで早送りすると、次のファイルの先頭から早送り再生を続けます。

最終ファイルの早送り再生終了後、最初のファイルの先頭から早送り再生を続けます。

■ **早戻し(|◀◀)**

ファイルの先頭まで早戻しすると、そのひとつ前のファイルの最後から早戻し再生を続けます。

先頭のファイルの早戻し再生終了後、最後のファイルの最後から早戻し再生を続けます。

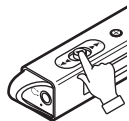
ただし、ランダム再生中はファイルの先頭まで早戻しすると停止状態になります。

早送り･早戻し再生中、ファイルの音声は出力されます。

ジョグスイッチから指をはなすと早送り･早戻し再生を解除し、通常再生に戻ります。

- **ジョグスイッチをスライドして押し続けると、早送り･早戻し再生の速度は順次変わります。**

ファイル送り･戻しするには

再生または停止中に、ジョグスイッチを ⏮ または ⏭ 方向に軽くスライドする

または

連続でファイル送り･戻しをするには、停止中に**ジョグスイッチ**を ⏮ または ⏭ 方向にスライドして、押し続けます。
停止中にファイルを選択した場合は、**ジョグスイッチ**を押してして再生を開始してください。

- 再生中に**ジョグスイッチ**を ⏮ 方向に軽くスライドすると、再生中のファイルの頭に戻り再生します。続けて軽くスライドすると、前のファイルに移動します。ただし、ランダム再生中は前のファイルに移動しません。

お好みの音質で聞くには

Musicファンクションで音楽ファイルを再生するときやFMファンクションで録音したFM放送を再生するときに再生する内容に合わせて、お好みの音質で聞くことができます。

操作とはたらき	
1	**停止状態でMODEボタンを2秒以上押す** Function ● 大分類メニュー選択画面を表示します。

操作とはたらき

2 ジョグスイッチをスライドさせて「Music Setting」を選択する

POWER

Music Setting

3 ジョグスイッチを押す

SOUND EQ MUSIC

● Musicメニュー選択画面を表示します。

4 「SOUND EQ」が表示されていることを確認してジョグスイッチを押す

POP ROCK JAZZ NOR MUSIC

● SOUND EQの選択画面を表示します（現在の設定が反転しています）。

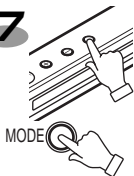
5 ジョグスイッチをスライドさせて希望の音質（POP、ROCK、JAZZ、NOR）を選択する

「POP」................ 高音域を強調する
「ROCK」............. 低音域を強調する
「JAZZ」.............. 中音域を強調する
「NOR」................ 低音域から高音域までフラットな音質にする

6 ジョグスイッチを押す

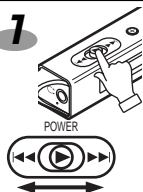
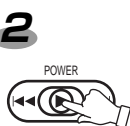
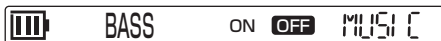
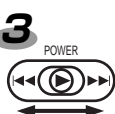
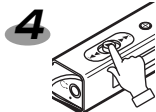
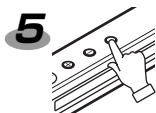
SOUND EQ MUSIC

● 音質が確定し、Musicメニュー選択画面に戻ります。

操作とはたらき	
7	**MODEボタンを2度押す** Jupitor 1- 12 ● もとの停止状態に戻ります。

ちょっとこれを!

再生中に**MODE**ボタンを2秒以上押して設定することもできます。手順 **4** 以降と同様に操作してください。

低音を強調するには

Musicファンクションで音楽ファイルを再生するときやFMファンクションで録音したFM放送を再生するときに、低音を強調して聞くことができます。

操作とはたらき	
1	**69ページ手順 4 で、ジョグスイッチをスライドさせて「BASS」を選択する** BASS BASS MUSIC
	ジョグスイッチを押す BASS ON OFF MUSIC ● BASS設定の選択画面がを表示します(現在の設定が反転しています)。
3	**ジョグスイッチをスライドさせて「ON」を選択する**

操作とはたらき	
4	**ジョグスイッチを押す** BASS　BASS　MUSIC ● BASS設定が確定し、Musicメニュー選択画面に戻ります。
5	**MODEボタンを2度押す** Jupitor　1- 12 ● もとの停止状態に戻ります。

ちょっとこれを!

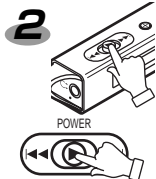
再生中に**MODE**ボタンを2秒以上押して設定することもできます。手順 **1** 以降と同様に操作してください。

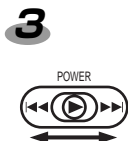
リピート/ランダム再生について

Musicファンクションで音楽ファイルを再生するときやFMファンクションで録音したFM放送を再生するときに、1つのファイルまたはすべてのファイルを繰り返し再生することができます。また、すべてのファイルをランダムに繰り返し再生することもできます。

操作とはたらき	
1	**69ページ手順 4 で、ジョグスイッチをスライドさせて「REPEAT」を選択する**

操作とはたらき

2

ジョグスイッチを押す

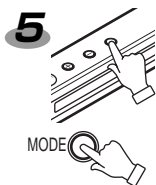
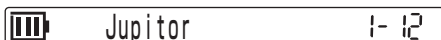
● REPEAT選択画面を表示します(現在の設定が反転しています)。

ジョグスイッチをスライドさせて希望のリピートモード(ONE、ALL、RANDOM)を選択する

「ONE」............ 1つのファイルを繰り返し再生
「ALL」............. 現在選択中のフォルダまたはARTIST、ALBUM、GENRE内のすべてのファイルを繰り返し再生
「RANDOM」... 現在選択中のフォルダまたはARTIST、ALBUM、GENRE内のすべてのファイルを順不同に繰り返し再生

ジョグスイッチを押す

REPEAT MUSIC

● REPEAT設定が確定し、Musicメニュー選択画面に戻ります。

5

MODEボタンを2度押す

● もとの停止状態に戻ります。
● 再生を開始する場合は、**ジョグスイッチ**を押します。

ちょっとこれを!

再生中に**MODE**ボタンを2秒以上押して設定することもできます。手順 **1** 以降と同様に操作してください。

FM放送を楽しむ（FMファンクション）

本機はFMチューナーを内蔵しており、FM放送を聞いたり録音することができます。
FM放送を楽しむにはFMファンクションに切り換えてください。**（61ページ）**

- テレビの1～3チャンネルの音声も受信できます。
- **ヘッドホンがアンテナの役割をしますので、ヘッドホン端子にヘッドホンを差し込んでください。差し込まなければ放送は受信できません。**

ご注意

- テレビに色ズレが生じたり、本機にテレビの雑音が入る場合は、本機とテレビを離してご使用ください。
- 室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でテレビ音声を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。

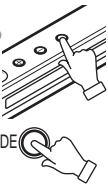
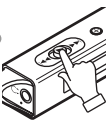
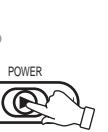
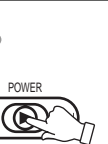
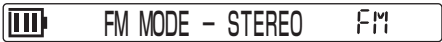
選局方法について

本機では3つの方法で選局ができます。

エリアバンド選局：

札幌（北海道地区）、仙台（東北地区）、東京（関東地区）、名古屋（中部、北陸地区）、大阪（近畿地区）、広島（中国、四国地区）、福岡（九州地区）あるいはJR（JR車両内※）でご使用になる場合、地域名（エリア）とプリセット番号を選ぶだけで選局します。※ 新幹線および一部特急列車

アップ/ダウン選局：

受信したい放送局の周波数に自動（オートスキャン）または、手動（マニュアル）で合わせます。

プリセット選局（ユーザープリセット）：

ご自分でプリセット（プログラム）した放送局を選局するときに使います。24局までプリセットできます。

FMステレオ放送の受信について

ステレオモードとモノラルモードを切り換えることができます。
ステレオモード時にFMステレオ放送を受信すると、自動的にステレオになります。

操作とはたらき

1

停止状態でMODEボタンを2秒以上押す

Function

● 大分類メニュー選択画面を表示します。

2

ジョグスイッチをスライドさせて「Tuner Setting」を選択する

Tuner Setting

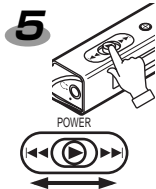
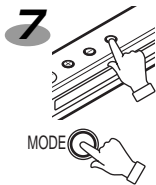
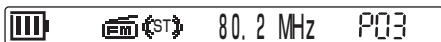
ジョグスイッチを押す

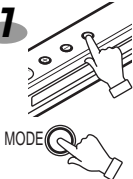
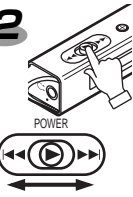
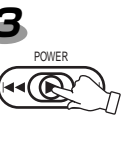
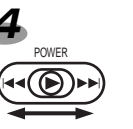
FM MODE 《STEREO》 FM

● Tunerメニュー選択画面を表示します。

「FM MODE」が表示されていることを確認してジョグスイッチを押す

FM MODE - STEREO FM

● FM MODEの選択画面を表示します(現在の設定を表示しています)。

操作とはたらき	
5	**ジョグスイッチをスライドさせて「STEREO」または「MONO」を選択する**
6	**ジョグスイッチを押す** ● FM MODEが確定し、Tunerメニュー選択画面に戻ります。
7	**MODEボタンを2度押す** ● FMファンクション選択中は、もとの受信状態に戻ります。

ちょっとこれを！

- 受信状態が悪いとステレオにならないことがあります。この場合、モノラルモード（「MONO」選択）にすると、モノラル音声になり聞きやすくなります。
- 他の周波数を選ぶと、モノラルモードは自動的に解除され、ステレオモードになります。
- FM文字放送には対応していません。

エリアバンドを設定する

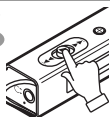
エリア(7地区＋JR)別に主な放送局の周波数がすでに登録(プリセット)されています(78ページをご参照ください)。
本機をお使いになる地域(エリア)に合わせてエリアバンドを切り換え、希望の放送局のプリセット番号を選ぶと放送局を選局します。(工場出荷時は大阪に設定されています。)

準備:FMファンクションを選択します(61ページ)。

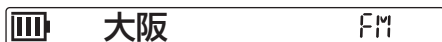
操作とはたらき	
1	**受信または停止状態でMODEボタンを2秒以上押す** ● 大分類メニュー選択画面を表示します。 ● FM放送の受信を中断します。
2	**ジョグスイッチをスライドさせて「Tuner Setting」を選択する**
	ジョグスイッチを押す FM MODE STEREO FM ● Tunerメニュー選択画面を表示します。
	ジョグスイッチをスライドさせて「PRESET」を選択する PRESET FM

5

ジョグスイッチを押す

札幌	FM

● FM AREAの選択画面を表示します。

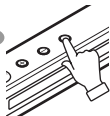
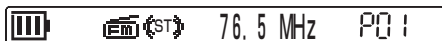
ジョグスイッチをスライドさせて希望のエリアを選択する

大阪	FM

● 「札幌」⇔「仙台」⇔「東京」⇔「名古屋」⇔「大阪」⇔「広島」⇔「福岡」⇔JR車両内「JR」⇔ユーザーエリア「USER」⇔プリセット初期化「CLEAR」⇔「札幌」の順にエリアが切り換わります。

ジョグスイッチを押す

● FM AREA設定が確定し、Tunerメニュー選択画面に戻ります。

● ユーザープリセット局が未登録の時に「USER」を選択したときは、“NO DATA”を表示してTunerメニュー選択画面に戻ります。

8

MODEボタンを2度押す

● 受信状態に戻り、選択したエリアのプリセット「01」の放送局を表示します。

エリアバンドプリセット一覧

札幌

FM放送

1	FM北海道	80.4MHz
2	FMノースウェーブ	82.5
3	NHK-FM札幌	85.2

TV放送

1	北海道放送	95.7(1ch)MHz
2	NHK総合	107.7(3ch)

仙台

FM放送

1	FM岩手	76.1MHz
2	FM仙台	77.1
3	FM青森	80.0
4	FM山形	80.4
5	ふくしまFM	81.8
6	NHK-FM仙台	82.5
7	FM秋田	82.8

TV放送

1	東北放送	95.7(1ch)MHz
2	NHK総合	107.7(3ch)

東京

FM放送

1	FMインターウェーブ	76.1MHz
2	放送大学	77.1
3	FMサウンド千葉(bayfm)	78.0
4	FM埼玉(NACK 5)	79.5
5	東京FM	80.0
6	FMジャパン(J-WAVE)	81.3
7	NHK-FM東京	82.5
8	FM富士	83.0
9	FM横浜	84.7
10	FM群馬	86.3

TV放送

1	NHK総合	95.7(1ch)MHz
2	NHK教育	107.7(3ch)

名古屋

FM放送

1	FM福井	76.1MHz
2	FM名古屋	77.8
3	FM三重	78.9
4	K-MIX	79.2
5	FM長野	79.7
6	FM石川	80.5
7	FM愛知	80.7
8	NHK-FM名古屋	82.5
9	FMとやま	82.7

TV放送

1	東海テレビ	95.7(1ch)MHz
2	NHK総合	107.7(3ch)

大阪

FM放送

1	FM CO·CO·LO	76.5MHz
2	FM滋賀	77.0
3	FM802	80.2
4	NHK-FM京都	82.8
5	FM大阪	85.1
6	NHK-FM神戸	86.5
7	NHK-FM大阪	88.1
8	FM京都(α-STATION)	89.4
9	FM兵庫(Kiss FM)	89.9

TV放送

1	NHK総合	101.7MHz

広島

FM放送

1	FM山陰	77.4MHz
2	広島FM	78.2
3	FM香川	78.6
4	FM山口	79.2
5	FM愛媛	79.7
6	FM徳島	80.7
7	FM高知	81.6
8	NHK-FM広島	88.3

TV放送

1	NHK総合	107.7(3ch)MHz

福岡

FM放送

1	FM中九州	77.4MHz
2	FM佐賀	77.9
3	FM九州	78.7
4	FM長崎	79.5
5	FM鹿児島	79.8
6	FM福岡	80.7
7	FM宮崎	83.2
8	NHK-FM福岡	84.8
9	FM沖縄	87.3
10	FM大分	88.0

TV放送

1	九州朝日放送	95.7(1ch)MHz
2	NHK総合	107.7(3ch)

JR車両内(JR)

※新幹線および一部特急列車

FM放送

1		76.0MHz
2		76.6
3		77.5
4		78.8
5		79.6

プリセットを初期化するには

ユーザープリセット情報(82ページ参照)を消去したり、プリセットの設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. 77ページ操作 6 で、ジョグスイッチをスライドさせて「CLEAR」を選択する

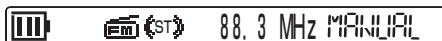
2. ジョグスイッチを押す

- 工場出荷時の「大阪」に設定されます。
- MODEボタンを2度押すと受信状態に戻ります。

オート(自動)/マニュアル(手動)チューニング

受信したい放送局の周波数にオート(自動)または、マニュアル(手動)で合わせます。

FMファンクション選択中に、ジョグスイッチを |◀◀ または ▶▶| 方向にスライドさせて希望の放送局を受信する

FM (ST) 88.3 MHz MANUAL

オート(自動)スキャンチューニング

ジョグスイッチを1秒以上スライドし、"MANUAL"を表示した後周波数が変わり始めたら指を離します。周波数が自動的に進み、放送局を受信すると自動停止します。

- 電波が弱く受信状態が悪い場合は、自動停止しないことがあります。
- 周囲に妨害電波がある場合は、妨害電波を受信して自動停止することがありますが、故障ではありません。

マニュアル(手動)チューニング

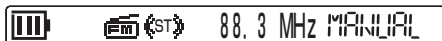
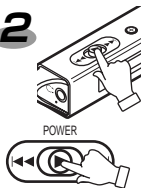
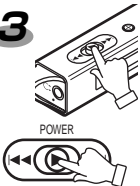
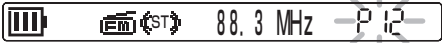
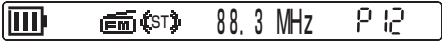
ジョグスイッチを1秒以上スライドし、"MANUAL"を表示した後**ジョグスイッチ**を短くポンポンと繰り返しスライドします。周波数が76.0 ～ 90.0 MHz(0.1 MHzステップ)の範囲で変わります。90.0 MHzを越えると、テレビの1～3チャンネル(95.75、101.75、107.75MHz)を受信します。

プリセット選局に戻るには、「MANUAL」表示中にMODEボタンを押す

- 選局時、周波数は正しく合わせてください。周波数は新聞の番組覧などに記載されています。
- テレビ音声はステレオ、音声多重にはなりません。
- 本機のテレビ受信回路はFM受信回路と兼用しています。このため、地域によってはテレビの2または3チャンネルの音声受信時にFM放送が混信することがあります。

希望局をプリセットする

ご希望の放送局をプリセットしておくと、**ジョグスイッチ**を使って、簡単に選局できます。
受信できる放送局を24局までプリセットできます。

	操作とはたらき
	79ページ「オート（自動）/マニュアル（手動）チューニング」の操作でプリセットしたい放送局を受信する (ST) 88.3 MHz MANUAL
	ジョグスイッチを押す PRESET ModE ● 操作選択画面を約5秒間表示します（操作しないと約5秒後にもとの受信状態へ戻ります）。

	操作とはたらき
3 	**「PRESET」が表示されていることを確認してジョグスイッチを押す** ● プリセット番号で先頭の空き番号が約10秒間点滅表示します。 ● プリセット番号を指定したい場合は、**ジョグスイッチ**を軽くスライドしてプリセット番号を選択します。
4 	**プリセット番号表示中にジョグスイッチを押す** ● プリセットが確定し、選んだプリセット番号でプリセットモードになります。
	他局をプリセットする場合は、手順 1 ～ 4 を繰り返す

ユーザープリセットの有効な使いかた

エリアバンド選局にて、「USER」を選択すると、ユーザープリセットされたプリセット番号と周波数の情報が上書きされます。
この機能を使うと、例えば、出張などで一時的にエリア選択を変更した場合、ユーザープリセット局の上に他の情報が上書きされてしまいますが、再度通常使用するエリアを選択し、さらに「USER」を選択することで、以前登録したプリセット状態に戻すことができます。

例えば、

1. 札幌エリア(プリセット5局)を選択してユーザープリセットを2件作成

1	2	3	4	5	6	7	8	・・・	24
札幌	札幌	札幌	札幌	札幌	User	User		・・・	

2. 東京エリア(プリセット12局)に切り替え

1	2	3	4	5	6	7	8	・・・	24
東京	東京	東京	東京	東京	東京	東京	東京	・・・	

3. 再度札幌エリア(プリセット5局)に切り替え

1	2	3	4	5	6	7	8	・・・	24
札幌	札幌	札幌	札幌	札幌				・・・	

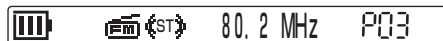
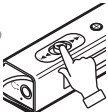
4. 「User」を選択

1	2	3	4	5	6	7	8	・・・	24
札幌	札幌	札幌	札幌	札幌	User	User		・・・	

となります。

プリセットした放送局を聞く ...... LISTEN FM

FMファンクション選択中に、ジョグスイッチを |◀◀ または ▶▶| 方向に軽くスライドさせてプリセット番号を選ぶ

FM (ST) 80.2 MHz P03

- **ジョグスイッチ**を短くポンポンと繰り返しスライドします。
- **ジョグスイッチ**をスライドするたびに次または前のプリセット局を受信します。

FM放送を録音する .... REC FM

FM放送を録音することができます。録音したファイルはすべてRECORDフォルダ内のFMフォルダに保存します。また、ファイル名は録音順に自動的に付けられて保存されます。ファイル名については55ページをご覧ください。

● 録音モードはHQモードで録音します。（設定を変更することは出来ません。）

	操作とはたらき
	79ページ「オート（自動）/マニュアル（手動）チューニング」または82ページ「プリセットした放送局を聞く」の操作で録音したい放送局を受信する
	ジョグスイッチを押す REC FM ModE ● 操作選択画面を表示します。
	「REC FM」が表示されていることを確認してジョグスイッチを押す ● FM REM 31H29M46S 8-8 表示パネルに“ ● ”を表示し、録音を開始します。 現在録音しているファイル番号/ファイル総数と録音可能時間を表示します。 ● 「REC FM」が表示されていない場合は、**ジョグスイッチ**をスライドさせて「REC FM」を選択してください。

録音を停止するには

録音中にジョグスイッチを押す

録音を停止して、もとの受信表示に戻ります。

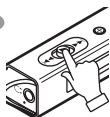
ご注意

- FM放送を録音中はヘッドホン(アンテナ兼用)を抜かないでください。
- FM録音中は、選局できません。

録音したFM放送を再生する .... PLAY FM

本機で録音したFM放送を再生します。

準備:FMファンクションを選択します(61ページ)。

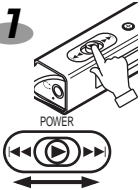
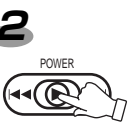
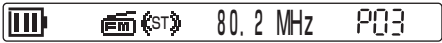
操作とはたらき	
1	**ジョグスイッチを押す** REC FM ModE ● 操作選択画面を表示します。
2	**ジョグスイッチをスライドさせて「PLAY FM」を選択する** PLAY FM ModE

操作とはたらき	
3	**ジョグスイッチを押す** ▶ FM 0M02S 1-7 表示パネルに“ ▶ ”を表示し、再生を開始します。 再生中はファイル番号/ファイル総数と再生経過時間を表示します。 ● 再生中にMODEボタンを押すと、アニメーション表示します（101ページ）。

再生を途中で停止するには

再生中にジョグスイッチを押す

● 詳しくは、67ページ「再生を途中で停止するには」をご覧ください。
ただし、続きから再生を開始するには84ページ「録音したFM放送を再生する」と同様に操作します。

再生を早送り・早戻しするには

再生中に、ジョグスイッチを |◀◀ または ▶▶| 方向にスライドして、1秒以上押し続ける

● 詳しくは、67ページ「再生を早送り・早戻しするには」をご覧ください。

ファイル送り・戻しするには

再生または停止中に、ジョグスイッチを |◀◀ または ▶▶| 方向に軽くスライドする

● 詳しくは、68ページ「ファイル送り・戻しするには」をご覧ください。

ファイル再生後にFM放送を受信するには

	操作とはたらき
	84ページ手順 2 で、ジョグスイッチをスライドさせて「LISTEN FM」を選択する
	ジョグスイッチを押す もとの受信表示に戻ります。

ちょっとこれを！

- 再生する内容に合わせて、お好みの音質で聞くことができます。68ページ「お好みの音質で聞くには」参照。
- 低音を強調して聞くことができます。70ページ「低音を強調するには」参照。
- 1つのファイルまたはすべてのファイルを繰り返し再生することができます。また、すべてのファイルをランダムに繰り返し再生することもできます。71ページ「リピート/ランダム再生について」参照。

音声を録音する(VOICEファンクション)

風の強い場所など、環境によって録音状態が変わります。
必ず事前に試し録音して正常に録音できることを確認してください。

ご注意

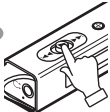
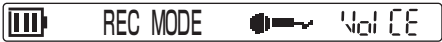
録音中に本機を持ち替えたり、操作ボタンなどをこすると、不要な音を録音する場合がありますので、ご注意ください。

録音フォルダについて

本機で音声を録音したファイルはすべてRECORDフォルダ内のVOICEフォルダに保存します。また、ファイル名は録音順に自動的に付けられて保存されます。フォルダ/ファイルについては55ページをご覧ください。

録音可能時間について

録音可能時間は録音モード(音質レベル)によって変化します。録音モードは下表の通り2種類あり、初期設定ではHQ(ハイクオリティモード)になっています。
録音モードと録音可能時間の関係を以下に示します。

録音モード	ステレオ/モノラル		最大録音可能時間	
	内蔵ﾏｲｸ	FM放送	DMP-M600	DMP-M700
HQ(ﾊｲｸｵﾘﾃｨﾓｰﾄﾞ)	モノラル	ステレオ	約8時間50分	約17時間40分
SP(ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞﾓｰﾄﾞ)	モノラル	−	約35時間30分	約71時間00分

ちょっとこれを!

- **最大録音可能時間は、お買い上げ時の状態で録音した場合の最大時間です。**
- 音質を優先される場合はHQをお選びください。
- 内蔵マイクからの録音は、録音音質に関係なくモノラル録音になります。
- 長時間における録音/再生の場合、途中で充電池の充電が必要です。

準備：Voiceファンクションを選択します（61ページ）。

録音モードを選択する

操作とはたらき

停止状態でMODEボタンを2秒以上押す

● 大分類メニュー選択画面を表示します。

ジョグスイッチをスライドさせて「Voice Setting」を選択する

ジョグスイッチを押す

REC MODE　VoICE

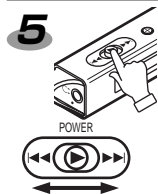
● Voiceメニュー選択画面を表示します。

「REC MODE」が表示されていることを確認してジョグスイッチを押す

REC MODE　HQ　SP　VoICE

● 録音モード選択画面を表示します（現在選択されている録音モードが反転しています）。

操作とはたらき

5

ジョグスイッチをスライドさせて希望の録音モード(HQ、SP)を選択する

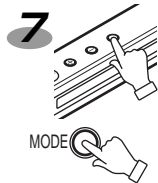
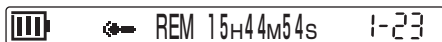
6

ジョグスイッチを押す

- 録音モードが確定し、Voiceメニュー選択画面に戻ります。

7

MODEボタンを2度押す

REM 15H44M54S 1-23

- もとの停止状態に戻ります。
- 停止中に**MODE**ボタンを押して録音モードを確認できます（101ページ）。

ご注意

各録音モードの最大録音時間とは別に、**本機で録音できる**最大ファイル数は255ファイルとなります。録音可能時間が残っていても、256以上のファイルを録音することはできません。
256ファイル目を録音しようとすると、“FILE FULL”と表示されます。不要なファイルを消去してください。
94ページ「ファイルを消去する」参照。

録音をはじめる .... REC VOICE

	操作とはたらき
1	**ジョグスイッチを押す** PLAY VOICE ModE ● 操作選択画面を表示します。
	ジョグスイッチをスライドさせて「REC VOICE」を選択する HQ REC VOICE ModE
3	**ジョグスイッチを押す** 表示パネルに“ ● ”を表示し、録音を開始します（以降、録音モードはハイクオリティモードで説明します）。 現在録音しているファイル番号/ファイル総数と録音可能時間を表示します。

ご注意

- メモリの容量が一杯の時は、“MEMORY FULL”と表示されて録音できません。
- 録音中にメモリの容量が一杯になった時は、自動的に録音が停止します。

録音を停止するには

録音中にジョグスイッチを押す

録音可能時間を表示し、録音したファイルの先頭に戻ります。

録音内容をモニターするには

ステレオヘッドホン端子にステレオヘッドホンを差し込みます。その状態で、90ページからの手順にしたがって録音を開始すると、録音している内容をステレオヘッドホンから聞くことができます。**VOL +/−**ボタンを押すと、モニター中にステレオヘッドホンから聞こえてくる音量を調節できます。

録音した音声ファイルを再生する .... PLAY VOICE

本機で録音した音声ファイルを再生します。

準備：Voiceファンクションを選択します（61ページ）。

操作とはたらき	
1	**ジョグスイッチを軽くスライドさせて、再生したいファイルを選択する** REM 31H29M48S 3-23

本体操作編

音声を録音する

操作とはたらき

2

ジョグスイッチを押す

- 操作選択画面を表示します。

3

ジョグスイッチをスライドさせて「PLAY VOICE」を選択する

ジョグスイッチを押す

表示パネルに“ ► ”を表示し、再生を開始します。
再生中はファイル番号/ファイル総数と再生経過時間を表示します。

- 最後のファイルを再生後、停止します。
- 再生中にMODEボタンを押すと、アニメーション表示します（101ページ）。

再生を途中で停止するには

再生中にジョグスイッチを押す

- 詳しくは、67ページ「再生を途中で停止するには」をご覧ください。
  ただし、続きから再生を開始するには92ページ「録音した音声ファイルを再生する」手順 **2** 以降と同様に操作します。

再生を早送り・早戻しするには

再生中に、ジョグスイッチを |◀◀ または ▶▶| 方向にスライドして、1秒以上押し続ける

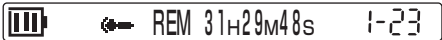
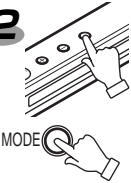
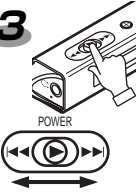
● 詳しくは、67ページ「再生を早送り・早戻しするには」をご覧ください。
ただし、Voiceファンクション選択中は最終ファイルの最後まで早送りすると、停止状態になります。また、先頭のファイルの早戻し再生終了後も、停止状態になります。

ファイル送り・戻しするには

再生または停止中に、ジョグスイッチを |◀◀ または ▶▶| 方向に軽くスライドする

● 詳しくは、68ページ「ファイル送り・戻しするには」をご覧ください。

消去する

「ファイルを消去する」･「フォルダ内の全ファイルを消去する」で消去できるのは、本機で再生可能なMP3･WMAファイルのみです。

- 他の形式のファイルは消去できません。
- MP3･WMAファイルも再生可能なフォルダに入っていない場合、消去できません。
- 読み取り専用ファイルは消去できません。

ご注意

消去する時は、充電池の残量が充分にあることを確認してください。

ファイルを消去する

	操作とはたらき
1	**消去するファイルがあるファンクション(Music、FM、Voice)を選択する(61ページ)** REM 31H29M48S 1-23
2 MODE	**停止状態でMODEボタンを2秒以上押す** Function ● 大分類メニュー選択画面を表示します。
3 POWER	**ジョグスイッチをスライドさせて「CommonSetting」を選択する** CommonSetting

操作とはたらき

4

ジョグスイッチを押す

FILE ERASE　CoMMoN

- Commonメニュー選択画面を表示します。

「FILE ERASE」が表示されていることを確認してジョグスイッチを押す

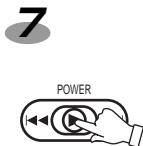
ERASE - CANCEL　CoMMoN

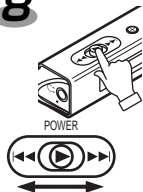
- ERASEの選択画面を表示します。

ジョグスイッチをスライドさせて「FILE」を選択する

- 消去を中止するには、「CANCEL」を選択して、**ジョグスイッチ**を押します。

ジョグスイッチを押す

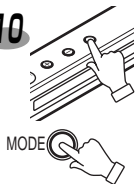
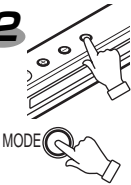
IC_V_001.MP3　1-23

- 消去するファイルの確認画面を表示します（消去するファイル名を表示しています）。
- 消去を中止するには、**MODE**ボタンを押します。

8

ジョグスイッチをスライドさせて、消去したいファイルを選択する

IC_V_009.MP3　9-23

ジョグスイッチを2秒以上押す

- “ERASING...”と表示して選択したファイルを消去し、ファイル消去の選択画面に戻ります。
- VoiceまたはFMファンクションでファイルを消去した場合は、消去したファイルのうしろのファイル番号は繰り上がります。

10

MODEボタンを4度押す

- もとの停止状態に戻ります。

フォルダ内の全ファイルを消去する

ご注意

- MUSICフォルダまたは、MUSICフォルダ内のサブフォルダを消去しても、各フォルダ内のサブフォルダとサブフォルダ内のファイルは消去されません。それぞれのサブフォルダを選択して、消去をおこなってください。
- Musicファンクションを選択中に特定のサブフォルダ(例えばMusicフォルダ)内の全ファイルを消去しても、サブフォルダ自体を消去することはできません。パソコンに接続して消去してください。

操作とはたらき

消去するフォルダのファンクション(Music、FM、Voice)を選択する(61ページ)

 REM 31H29M48S 1-23

2

停止状態でMODEボタンを2秒以上押す

Function

- 大分類メニュー選択画面を表示します。

3

ジョグスイッチをスライドさせて「CommonSetting」を選択する

 CommonSetting

ジョグスイッチを押す

● Commonメニュー選択画面を表示します。

「FILE ERASE」が表示されていることを確認してジョグスイッチを押す

ERASE - CANCEL　CoMMoN

● ERASEの選択画面を表示します。

6

ジョグスイッチをスライドさせて「FOLDER」を選択する

● 消去を中止するには、「CANCEL」を選択して、**ジョグスイッチ**を押します。

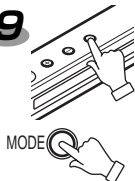
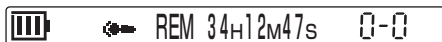
ジョグスイッチを押す

VOICE FOLDER　CoMMoN

● 消去するフォルダの確認画面を表示します（消去するフォルダ名（Music、FM、Voice）を表示しています）。
● 消去を中止するには、**MODE**ボタンを押します。

再度ジョグスイッチを2秒以上押す

ERASE - FOLDER　CoMMoN

● "ERASING..."と表示して選択したフォルダ内のすべての再生対象ファイルを消去し、ファイル消去の選択画面に戻ります。

操作とはたらき	
9	**MODEボタンを3度押す** REM 34H12M47S 0-0 ● もとの停止状態に戻ります。

全データを消去する（フォーマットする）

内蔵メモリの内容をすべて消去します。消去する前に必要なデータは、前もって必ずバックアップしてください。

操作とはたらき	
1	**停止状態でMODEボタンを2秒以上押す** ● 大分類メニュー選択画面を表示します。
2	**ジョグスイッチをスライドさせて「CommonSetting」を選択する** CommonSetting
	ジョグスイッチを押す FILE ERASE CoMMoN ● Commonメニュー選択画面を表示します。

本体操作編

消去する

	操作とはたらき
4	**ジョグスイッチをスライドさせて「FORMAT」を選択する** FORMAT　CoMMoN
5	**ジョグスイッチを押す** FORMAT - CANCEL　CoMMoN ● FORMAT選択画面を表示します。
	ジョグスイッチをスライドさせて「MEMORY」を選択する ● フォーマットを中止するには、「CANCEL」を選択して、**ジョグスイッチ**を押します。
7	**ジョグスイッチを押す** FORMAT　CoMMoN ● “FORMATTING”→“FORMAT COMPLETE”を表示して、メモリ内の全データを消去します。
8	**MODEボタンを2度押す** ● もとの停止状態に戻ります。

表示する

再生または停止状態でMODEボタンを押すと、画面表示が以下の順番で切り換わります。

表示順	Musicファンクション	
	再生中	停止中(再生対象ファイル有)
1	曲名またはファイル名 ▶ Jupitor 1- 12	曲名またはファイル名 Jupitor 1- 12
2	再生経過時間とリピートモード ▶ R 0M02s 1- 12	選択中の曲の再生総時間 4M25s 1- 12
3	再生アニメーション ▶ ----------> 1- 12	—

※ 再生対象ファイルがない場合は、"NO FILE"を表示します。

表示順	FMファンクション	
	再生中	ファイル再生後の停止中(再生対象ファイル有)
1	再生経過時間とリピートモード ▶ FM 0M02s 1-7	録音可能時間 FM REM 31H29M48s 1-7
2	再生アニメーション ▶ ----------> 1-7	選択中のファイルの再生総時間とリピートモード FM 10M02s 1-7

※ 再生対象ファイルがない場合は、「録音可能時間」のみを表示します。

表示順	Voiceファンクション	
	再生中	停止中(再生対象ファイル有)
1	再生経過時間と録音モード ▶ HQ 0M02s 1-23	録音可能時間 REM 31H29M48s 1-23
2	再生アニメーション ▶ ----------> 1-23	選択中のファイルの再生総時間と録音モード HQ 10M02s 1-23

※ 再生対象ファイルがない場合は、「録音可能時間」のみを表示します。

各種メニューの設定

共通操作

1. **停止状態でMODEボタンを2秒以上押します。**
   - 大分類メニュー選択画面を表示します。
2. **ジョグスイッチをスライドさせて、設定したいメニュー分類を選択し、ジョグスイッチを押します。**
   - Function、Music、Tuner、Voice、Commonの各メニュー選択画面を表示します。
3. **ジョグスイッチをスライドさせて設定したいメニューを選択し、ジョグスイッチを押すと、それぞれの設定画面を表示します。**
   - **ジョグスイッチ**をスライドさせて、各項目を選択し、**ジョグスイッチ**を押すと設定を決定し、各メニュー選択画面に戻ります。**MODE**ボタンを2度押すと、もとの停止(または受信)画面に戻ります(設定の変更が反映されています)。
   - 設定中に、**MODE**ボタンを押した場合、設定をキャンセルして各メニュー画面に戻ります。

各種メニューと設定できる内容を次に示します。

※ 各メニュー選択画面で表示しているのが初期設定値です。

※ 2ページ「本機でできることのフローチャート」も参考にしてください。

Functionメニュー項目

■ファンクション選択(Function)

本機のファンクション(動作モード)を設定します。

- (Music):パソコンから転送した音楽ファイル(MP3/WMA形式)を再生するモードです。
- (FM):FM放送を聞いたり、録音または、録音したFM放送を再生するモードです。
- (Voice):音声を録音したり、録音した音声を再生するモードです。

● 61ページ「ファンクション(動作モード)を切り換える」参照。

MUSICメニュー項目:Music Setting

■サウンドEQ(SOUND EQ)

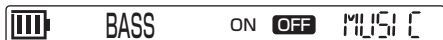
音楽に合わせた音質を選択します。

- POP:高音域を強調します。
- ROCK:低音域を強調します。
- JAZZ:中音域を強調します。
- NOR:低音域から高音域までフラットな音質にします。

● 68ページ「お好みの音質で聞くには」参照。

■BASS設定(BASS)

低音域の強調モードのON/OFFを設定します。

BASS	ON **OFF**	MUSIC

- **OFF**:低音域を強調せずにフラットな音質で再生します。
- **ON**:低音域が強調された迫力のある音質で再生します。
- ● 70ページ「低音を強調するには」参照。

■リピートモード(REPEAT)

リピートモード(1曲/全曲リピート・ランダム)を選択します。

ONE **ALL** RANDOM	MUSIC

- **ONE**:選択中の1曲を繰り返し再生します。
- **ALL**:すべての曲を繰り返し再生します。
- **RANDOM**:すべての曲を順不同に並べ換えて繰り返し再生します。
- ● 71ページ「リピート/ランダム再生について」参照。

■ 曲選択(PLAY SELECT)

再生する曲を、再生モード(ALL(全て)、ARTIST(アーティスト)、ALBUM(アルバム)、GENRE(ジャンル)、PLAY LIST(プレイリスト)、FOLDER(フォルダ別))を指定して検索・再生します。

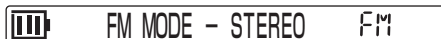
◄ LIST **FOLDER** ALL ►	MUSIC

- **ALL**:全てのファイルを検索し、再生します。
- **ARTIST**:アーティストを指定して検索し、アーティスト単位で再生します。
- **ALBUM**:アルバムを指定して検索し、アルバム単位で再生します。
- **GENRE**:ジャンルを指定して検索し、ジャンル単位で再生します。
- **PLAY LIST**:プレイリストを指定して検索し、プレイリスト単位で再生します。
- **FOLDER**:フォルダ別に検索して、フォルダ単位で再生します。
- ● 66ページ「Musicファンクションの構成について」参照。

Tunerメニュー項目:Tuner Setting

■ステレオ/モノラルモード(FM MODE)

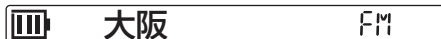
FM放送受信時のモード(ステレオ/モノラル)を設定します。

FM MODE - STEREO FM

- **STEREO**:ステレオ放送受信時にステレオモードにします。
- **MONO**:モノラルモードで受信します。

● 74ページ「FMステレオ放送の受信について」参照。

■FMエリア選択(PRESET)

チューナーのプリセット局を使用エリアに合わせて設定します。

大阪 FM

- **札幌/仙台/東京/名古屋/大阪/広島/福岡**
- **JR**:JR車両内 ※ 新幹線および一部特急列車
- **USER**:ユーザープリセット設定
- **CLEAR**:プリセットの初期化

● 76ページ「エリアバンドを設定する」参照。

Voiceメニュー項目:Voice Setting

■録音モード(REC MODE)

音声録音時の録音モードを設定します。

REC MODE HQ SP VoICE

- **HQ**:ハイクオリティモード
- **SP**:スタンダードモード

● 88ページ「録音モードを選択する」参照。

■ファイル消去/フォルダ消去(FILE ERASE)

選択中のファイルまたは選択中のファイルが存在するフォルダ内の全ファイルを消去します。

ERASE - CANCEL　CoMMoN

- **CANCEL**:消去を中止します。
- **FILE**:選択中のファイルを消去します。
- **FOLDER**:選択中のファイルが存在するフォルダ内の全ファイルを消去します。

● 94ページ「ファイルを消去する」または97ページ「フォルダ内の全ファイルを消去する」参照。

■BEEP音設定(BEEP)

警告音(BEEP音)のON/OFFを設定します。

BEEP - ON　CoMMoN

- **ON**:警告音を鳴らします。
- **OFF**:警告音(BEEP音)を解除します。

■フォーマット(FORMAT)

内蔵メモリをフォーマット(全データ消去)します。

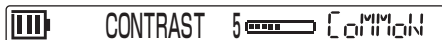
FORMAT - CANCEL　CoMMoN

- **CANCEL**:フォーマットを取りやめます。
- **MEMORY**:内蔵メモリ中の全データを消去します。

● 99ページ「全データを消去する(フォーマットする)」参照。

■コントラスト(LCD CONTRAST)

表示パネルのコントラストを調整します。

CONTRAST 5 CoMMoN

コントラスト

淡(1)⇔濃(10)

■ バックライトカラー(LIGHT COLOR)

電源を入れて操作したときに、点灯するバックライトの色を7色から選択します。また、各動作モード別に点灯させることやランダムに点灯させることもできます。

COLOR - NORMAL CoMMoN

- NORMAL:バックライトを動作別に異なる色で点灯します。
  録音開始/録音中→赤色　再生開始/再生中→緑色
  FM放送受信中→青色　録音終了/停止中→黄色
  メニュー設定中→赤紫色
- RED:バックライトを赤色で点灯します。
- BLUE:バックライトを青色で点灯します。
- GREEN:バックライトを緑色で点灯します。
- YELLOW:バックライトを黄色で点灯します。
- MAGENTA:バックライトを赤紫色で点灯します。
- CYAN:バックライトを青緑色で点灯します。
- WHITE:バックライトを白色で点灯します。
- RANDOM:バックライトをランダムに選択して点灯します。
- OFF:バックライトを点灯しません。

■ バックライト時間(LIGHT TIME)

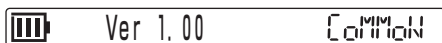
電源を入れて操作したときにバックライトの点灯する時間(秒)を設定します。

TIME - 2 Sec　COMMON

- 2 Sec:バックライトを2秒間点灯します。
- 5 Sec:バックライトを5秒間点灯します。

■バージョン(VERSION)

ファームウェアのバージョンを表示します。

Ver 1.00　COMMON

本機が正常に認識されているか確かめるには

本機をパソコンから一度取り外し、再接続した状態で、以下の確認作業をおこなってください。

デスクトップ上の**[マイ コンピュータ]**を右クリックし、表示されるメニューから**[プロパティ]**を選択して**[システムのプロパティ]**画面を開きます。**[ハードウェア]**タブ内の**[デバイスマネージャ]**ボタンをクリックして**[デバイスマネージャ]**を開きます。**[ディスクドライブ]**と**[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]**を開いて、下図のように表示されていれば、ドライバが正しくインストールされています。

<Windows 98SEの事例>

上図のような表示にならない場合、次ページからの「デバイスマネージャで正しく表示されなかったら？」をご覧いただき、お使いのOSにしたがった操作をおこなってください。

■ Windows 98SEの場合

18ページ「USBドライバのインストール（Windows 98SEのみ）」の操作でインストールがうまくいかなかった場合は、次の手順にしたがって再度おこなってください。

Windows XP/2000/Meをご使用の場合 → 118ページ参照

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する

起動中のアプリケーションはすべて終了させてから、以下の作業をしてください。
接続されている他のUSB機器（正しく動作しているマウス・キーボードは除く）はすべて取り外しておいてください。

2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入し、本機をパソコンのUSBポートに接続する

CD-ROM挿入時に、自動的に**[メモリプレイヤーセットアップ]**画面が起動しますが、ウィンドウ右上の**[×]**ボタンをクリックし、画面を閉じてください。

3 「デバイスマネージャ」画面を確認する

[スタート]メニュー－**[設定]**－**[コントロールパネル]**－**[システム]**－**[デバイスマネージャ]**を開きます。
「！」または「？」のついた**[SANYO MEMORY PLAYER]**（表示が異なる場合があります。例：不明なデバイス、USB DEVICEなど）をクリックし**[プロパティ]**を選択してクリックしてください。

※ [SANYO MEMORY PLAYER](表示が異なる場合があります。例:不明なデバイス、USB DEVICEなど)が表示されていない場合、以下の手順で確認をおこなってください。

1. 他に使用しているUSB機器があれば、それらをすべて外して本機を単独で接続する。
2. パソコンにUSBポートが複数ある場合(前面・背面など)は、別のポートに本機を接続する。
3. USBハブ(USB端子分配用周辺機器)を介して本機を接続している場合は、一旦ハブを取り外してパソコンのUSBポートに直接専用USB接続ケーブル(付属)を使用して本機を接続する。

ご注意

接続するUSBケーブルは、必ず付属の専用USB接続ケーブルを使用してください。

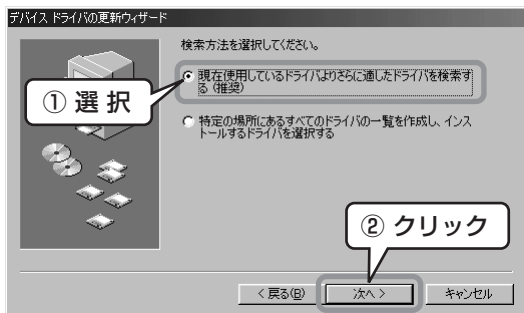
[ドライバの再インストール]をクリックする

[ドライバの再インストール]をクリックします。

5 インストールを開始する

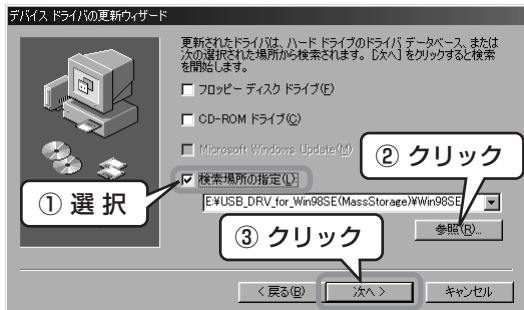
「デバイスドライバの更新ウイザード」が開くので、**[次へ]**をクリックしてください。

6 検索方法を選択する

[現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する(推奨)]を選択し、**[次へ]**をクリックします。

7 検索場所を指定する

[検索場所の指定]にチェックを入れます。

[参照]ボタンをクリックし、CD-ROMの**「¥USB_DRV_for_Win98SE(MassStorage)¥Win98SE」**フォルダを選択し、**[次へ]**をクリックします。

※ 他のチェックボックスにはチェックを入れないでください。

8 [次へ]をクリックする

下記のように表示していることを確認して、**[次へ]**をクリックします。

9 [完了]をクリックする

[完了]をクリックします。

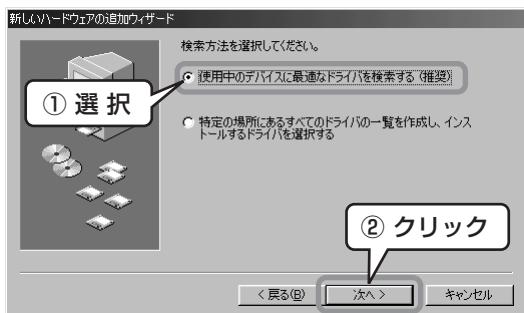
※ ここで再起動を促す画面が表示されたら、画面の指示にしたがってパソコンを再起動させてください。

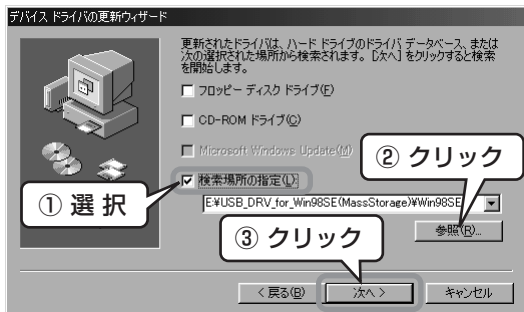
10 [次へ]をクリックする

再起動後、下記のように表示していることを確認して、**[次へ]**をクリックします。

上記の画面を表示しない場合は、本機をパソコンから一度取り外し、再接続してご確認ください。

11 検索方法を選択する

[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]を選択し、**[次へ]**をクリックします。

12 検索場所を指定する

[検索場所の指定]にチェックを入れます。
[参照]ボタンをクリックし、CD-ROMの**「¥USB_DRV_for_Win98SE(MassStorage)¥Win98SE」**フォルダを選択し、**[次へ]**をクリックします。
※ 他のチェックボックスにはチェックを入れないでください。

13 [次へ]をクリックする

下記のように表示していることを確認して、**[次へ]**をクリックします。

14 インストールを完了する

[完了]をクリックします。

これで、USBドライバのインストールが完了しました。
109ページ「本機が正常に認識されているか確かめるには」を参照して、再度確認してください。

弊社Webサイトにて、デジタルミュージックプレーヤーが認識されない場合の詳細なトラブルシューティングを掲載しています。

本機の操作において正常に認識されない場合は、弊社Webサイトをご覧ください。
http://www.sanyo-audio.com/support/dmp/index.html

デバイスマネージャで正しく表示されなかったら？

■ Windows XP/2000/Meの場合

※ Windows XP/2000/Meで109ページのデバイスマネージャのような表示がでない場合、以下の手順で確認をおこなってください。

1. 起動中のアプリケーションはすべて終了させてください。
2. 接続されている他のUSB機器（正しく動作しているマウス・キーボードは除く）はすべて取り外して、本機を単独で接続してください。
3. パソコンにUSBポートが複数ある場合（前面・背面など）は、別のポートに本機を接続する。
4. USBハブ（USB端子分配用周辺機器）を介して本機を接続している場合は、一旦ハブを取り外してパソコンのUSBポートに直接付属の専用USB接続ケーブルを使用して本機を接続する。

ご注意

接続するUSBケーブルは、必ず付属の専用USB接続ケーブルを使用してください。

弊社Webサイトにて、デジタルミュージックプレーヤーが認識されない場合の詳細なトラブルシューティングを掲載しています。

本機の操作において正常に認識されない場合は、弊社Webサイトをご覧ください。
http://www.sanyo-audio.com/support/dmp/index.html

廃棄時の充電池の処理について

⚠ 警告（廃棄する時以外は開けないでください）

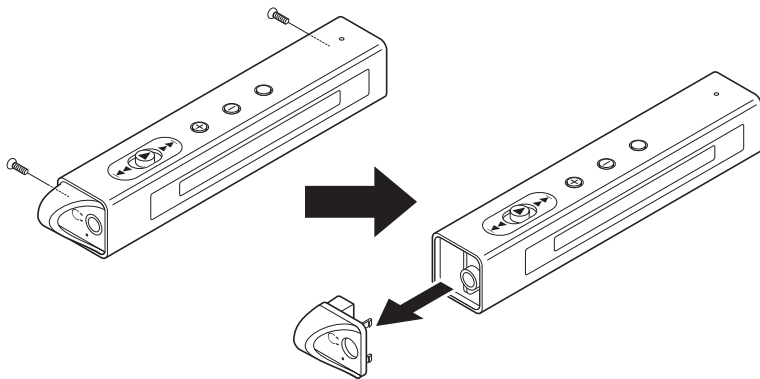
本機には、リチウムイオン充電池を内蔵しております。リチウムイオン充電池はリサイクル可能な貴重な資源です。本機の廃棄に際しては、リチウムイオン充電池を取り外して、リサイクルにご協力ください。

ご注意

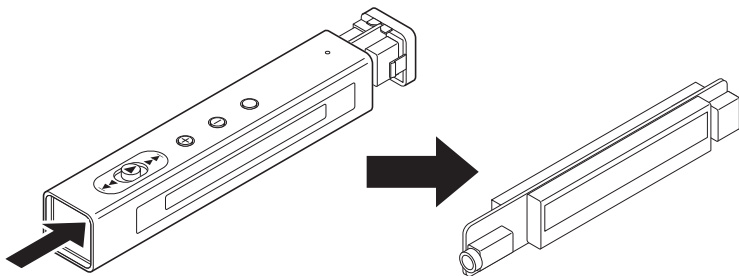
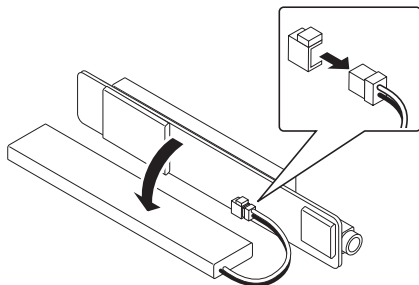
- **一度お客さまが開けられますと、本製品の保証はできません。**
- 本機を廃棄するとき以外は、絶対に本機を分解しないでください。
- 内蔵の充電池を取り出すときは、充電池を完全に使い切ってから取り出してください。

内蔵の充電池を取り出すには

1 **電源が入っている場合は、停止状態にしてジョグスイッチ（POWER）を2秒以上押して電源を切る。**

2 **本体側面にあるネジ2本を外した後、左側のカバーを外す。**

3 本体内部の機構部品を押し出して取り出す。

4 充電池に接続されているコネクターを引き抜く。

ご注意

- 取り外した充電池は、お買い上げの販売店やお近くの電気店にお持ちいただくか、各地方自治体の指示(条例)にしたがってリサイクル処理をしてください。
  なお、取り外した充電池は単品では販売していません。充電池の交換についてはお買い上げの販売店またはお近くのお客さまご相談窓口にご相談ください。

故障かな?と思うまえに

販売店にご相談になる前に、下記をお確かめください。
直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

－どのようなトラブルですか?－

本機が動作しない

原　　因	充電池切れである
解決方法	内蔵の充電池を充電してください。 57ページ「充電池を充電する」参照

原　　因	動作中に表示や動作が正常に働かなくなった
解決方法	本機の**RESET**スイッチを押してリセットしてください。 127ページ「本機の電源をリセットする」参照

ボタンを押しても反応しない

原　　因	誤動作防止機能（ホールド機能）が設定されている
解決方法	誤動作防止機能（ホールド機能）を解除してください。 60ページ「誤動作を防止する（ホールド機能）」参照

原　　因	USB接続したままである
解決方法	本機をパソコンから取り外してください。 25ページ「本機をパソコンから取り外す」参照

音声が聞こえない

原　　因	音量が小さい
解決方法	音量を調節してください。 62ページ「音量を調節する」参照

VOICEまたはFMフォルダ内のファイルが再生できない

原　　因	ファイル名が異なる
解決方法	パソコン上でファイル名を変更すると、再生できません。ファイルをMUSICフォルダに移してください。

MUSICフォルダ内のファイルが再生できない、または正しく再生できない

原　因	・再生できるファイル形式ではない ・著作権保護のされている音楽ファイル ・インターネットで購入した音楽ファイル
解決方法	正常に再生できるWMA形式またはMP3形式のファイルをご使用ください。

原　因	転送先が異なる
解決方法	パソコンからファイルを転送するときに、VOICEやFM、DATAフォルダに入れても、本機で再生できません。必ずリムーバブルディスク内のMUSICフォルダ内に転送してください。

原　因	本機で再生できないデータとなっている
解決方法	エンコーダー（MP3・WMA変換）ソフトを別のものに変えてファイルを作成してください。

原　因	プレイリスト再生時、リストに書かれているファイルがMUSICフォルダ内にない
解決方法	プレイリストからそのファイル名を削除するか、MUSICフォルダ内にそのファイルを転送してください。

Musicファンクションで曲選択時、アーティスト・アルバム・ジャンルの検索ができない

原　因	転送された楽曲のデータベースが作成されていない
解決方法	付属ソフト「MusicFileMaster」で転送した楽曲のデータベースを作成してください。 データベースの再作成について詳しくは、「MusicFileMaster」のオンラインヘルプ参照

パソコン接続時に、リムーバブルディスクが表示されない

原　　因	パソコンと本機が正しく接続されていない
解決方法	専用USB接続ケーブルのUSBコネクタが正しく最後まで差し込まれているかどうか確認してください。 パソコンと本機が正しく認識しない場合、再度接続してください。 23ページ「本機をパソコンに接続する」参照

原　　因	パソコンからの電源供給が不十分
解決方法	USBハブを利用している場合は、パソコン本体のUSBポートと本機とを直接に専用USB接続ケーブルを使用して接続してください。または、パソコン本体に複数USBポートがある場合は、他のポートに接続してください。 23ページ「本機をパソコンに接続する」参照

原　　因	ネットワークドライブが割り当てられている
解決方法	ネットワークドライブが割り当てられていると、ドライブレター(ドライブ名を表すアルファベット)がぶつかり、リムーバブルディスクが作成されない場合があるので、ネットワークドライブの割り当てを変更してから再度接続してください。 ネットワークドライブの割り当てについてはネットワーク管理者などにお聞きください。

ファイルが消去できない

原　因	ファイルの属性が読み取り専用に設定されている
解決方法	本機をパソコンに接続して、ファイルの属性を変更するか、ファイルを消去してください。 または、内蔵メモリのフォーマット（初期化）をおこなってください。 99ページ「全データを消去する（フォーマットする）」参照

FM放送が受信（録音）できない

原　因	ヘッドホン(アンテナ兼用)が差し込まれていない
解決方法	本機のヘッドホン端子に付属のステレオヘッドホンを差し込んでください。

FM放送のユーザプリセット局を追加(記憶)できない

原　因	空きメモリ容量が不足している
解決方法	不要な音声データを削除するなどして空きメモリ容量を増やしてください。

録音や再生が正常に動作しない

原　因	内蔵メモリが異常である
解決方法	内蔵メモリのフォーマット（初期化）をおこなってください。 99ページ「全データを消去する（フォーマットする）」参照

MusicFileMasterで本機が正しく認識されない

原　　因	本機をパソコンでフォーマット後、すぐにMusicFileMasterを起動した
解決方法	本機でフォーマットしてからパソコンに接続し、MusicFileMasterを起動してください。 99ページ「全データを消去する(フォーマットする)」参照

“MEMORY ERROR”と表示される

原　　因	内蔵メモリが正常ではない
解決方法	内蔵メモリのフォーマット(初期化)をおこなってください。 99ページ「全データを消去する(フォーマットする)」参照

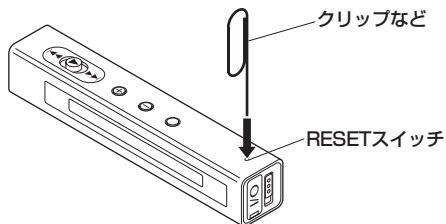
パソコン接続時に、電池マークが点滅する

原　　因	充電池の不良が考えられます
解決方法	お買い上げの販売店へご相談ください。

より詳細な情報やその他のよくあるご質問は、当社ホームページのサポートページ“http://www.sanyo-audio.com/support/dmp/index.html”にて随時更新しています。そちらも併せてご覧ください。

本機の電源をリセットする

通常リセットする時は、動作中に表示や動作が異常になったときリセットします。

表示や動作が異常になっていない時には、絶対にRESETスイッチを押さないでください。

お手入れについて

お手入れ

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、柔らかい布でからぶきをしてください。

- ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。

温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

主な仕様

		DMP-M600	DMP-M700
内蔵メモリ	：	512MB	1GB
最大保存曲数※	：	約128曲	約250曲
録音時間	：	約8時間50分（HQ時） 約35時間30分（SP時）	約17時間40分（HQ時） 約71時間00分（SP時）

対応OS　：Windows XP/2000/Me/98SE
再生フォーマット　：MP3（MPEG1 LAYER3、MPEG2 LAYER3、MPEG2.5 LAYER3）・WMA
録音フォーマット　：MP3
再生対応ビットレート　：16～192kbps（MP3）・32～160kbps（WMA）
再生周波数　：20～20kHz
録再周波数特性　：40～4.0kHz（内蔵マイクSP時）
40～7.5kHz（内蔵マイクHQ時）
サンプリング周波数　：16～44.1kHz
チューナー部受信周波数：FM 76～90MHz、TV 1～3ch
S/N比　：85dB
入・出力端子　：USB/ステレオヘッドホン3.5φミニ
動作温度　：＋5℃～＋35℃
定格出力（ヘッドホン）：10mW＋10mW(16Ω負荷時、JEITA/DC)
電源　：リチウムイオン電池（充電式）
充電時間　：約2時間（USB充電）
電池持続時間（JEITA）：MP3連続再生時間：満充電時約10時間(EQ:NORMAL,BASS:OFF)
WMA連続再生時間：満充電時約10時間30分(EQ:NORMAL,BASS:OFF)
FM連続再生時間：満充電時約11時間
録音SPモード／連続録音時間：満充電時約13時間
録音HQモード／連続録音時間：満充電時約7時間
FM連続録音時間：満充電時約5時間30分
※ 連続録音再生時間は、使用条件、使用周囲温度などによって変わります。上記の時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。
最大外形寸法　：幅15.6×高さ87×奥行き15.6mm
質量　：約23g
付属品　：専用USB接続ケーブル (1)　本書（保証書付）(1)
ストラップ (1)　基本操作ガイド (1)
インナーイヤー型ステレオヘッドホン（FMアンテナ兼用）(1)
CD-ROM（MusicFileMaster/Windows 98SE USBドライバ）(1)

- 内蔵メモリの特性により、録音時間が短くなることがあります。
- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

※128kbpsのWMA形式で1曲およそ4分の場合です。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この商品には保証書がついています。お買い上げの際、販売店が発行します。
- 所定事項の記入をご確認のうえ内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より**1年間**です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書の121ページからをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店か、または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の規定に従い、お買い上げの販売店が修理させていただきます。製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間経過後の修理は

修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間について

デジタルミュージックプレーヤーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造打ち切り後6年間です。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

お客さまご相談窓口

まずはお買い上げ販売店へ

家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げ販売店へお申し出ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記の相談窓口にお問い合わせください。
総合相談窓口： 家電製品についての全般的なご相談
修理相談窓口： 修理サービスについてのご相談

総合相談窓口（全般的なご相談）　三洋電機（株）お客様センター

相談受付時間

9:00～18:30

北海道地区……………札　幌　☎（011）290-1522
東北地区………………仙　台　☎（022）714-6137
関東地区………………東　京　☎（03）3815-1111
中部・北陸地区………名古屋　☎（052）533-5245
近畿・四国地区………大　阪　☎（06）6994-9570
中国地区………………広　島　☎（082）297-6067
九州・沖縄地区………福　岡　☎（092）263-7629

● 郵便・FAXでご相談される場合は
三洋電機（株）お客さまセンター
〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2-5-5
FAX（06）6994-9510

修理相談窓口（修理サービスについてのご相談）

三洋コンシューママーケティング(株)

受付時間　月曜日～金曜日　[9:00～18:30]
　　　　　土曜・日曜・祝日　[9:00～17:30]

出張修理のご依頼　その他の修理相談窓口

東コールセンター	東京	☎ (03)5302-3401
西コールセンター	大阪	☎ (06)4250-8400

関東・首都圏および近畿地区以外にお住まいのお客さまは下記の電話番号をご利用いただけます。

東コールセンターへの転送電話番号

北海道地区	札　幌	☎ (011)833-7888
東北地区	仙　台	☎ (022)382-2213
長野地区	長　野	☎ (0263)26-1772
新潟地区	新　潟	☎ (025)285-2451
福島地区	福　島	☎ (024)945-6811

西コールセンターへの転送電話番号

北陸地区	金　沢	☎ (076)237-6650
東海地区	名古屋	☎ (052)979-3456
中国地区	広　島	☎ (082)293-9333
四国地区	高　松	☎ (087)844-8321
九州地区	福　岡	☎ (092)922-9311

沖縄地区　沖　縄　☎ (098)944-5018

受付時間　月曜日～土曜日（日曜、祝日および当社の休日を除く）
[9:00～12:00 、13:00～17:30]

※「持ち込み修理および部品」についてのご相談は、各地区サービスセンターで承っております。
受付時間：　月曜日～土曜日（日曜、祝日を除く）　[9:00～17:30]

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

<利用目的>

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品･サービスに関わるご相談･お問合せおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機（株）および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合>

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理･監督をいたします。
  個人情報のお取り扱いについての詳細は、
  ホームページhttp://www.sanyo.co.jpをご覧ください。

お客さまご相談窓口

その他

北　海　道　地　区			
札　　幌	(011)831-9201	〒003-0013	札幌市白石区中央三条4-1-36
函　　館	(0138)48-8301	〒041-0824	函館市西桔梗町589-295
苫 小 牧	(0144)33-3421	〒053-0042	苫小牧市三光町2-2-5
旭　　川	(0166)22-2421	〒070-0073	旭川市曙北3条7-3-3
北　　見	(0157)23-4871	〒090-0037	北見市山下町4-7-14
釧　　路	(0154)22-1576	〒085-0021	釧路市浪花町7-7

東　北　地　区

仙　　台	(022)384-0444	〒981-1225	宮城県名取市飯野坂3-4-8
青　　森	(017)729-3401	〒030-0141	青森県青森市大字上野字山辺29-5
八　　戸	(0178)28-9225	〒039-1121	青森県八戸市卸センター1-6-7
盛　　岡	(019)635-0136	〒020-0863	岩手県盛岡市南仙北1-13-6
水　　沢	(0197)23-6621	〒023-0003	岩手県水沢市佐倉河字羽黒田45
山　　形	(023)641-1769	〒990-2432	山形県山形市荒楯町1-21-30
酒　　田	(0234)23-3817	〒998-0842	山形県酒田市亀ヶ崎6-7-16
秋　　田	(018)862-6551	〒010-0925	秋田県秋田市旭南3-2-67
郡　　山	(024)945-6793	〒963-0111	福島県郡山市安積町荒井字戸蘭塔1-7

関　東　・　甲　信　越　地　区

さいたま	(048)664-2319	〒331-0812	埼玉県さいたま市北区宮原町1-30
坂　　戸	(049)284-8900	〒350-0214	埼玉県坂戸市千代田5-3-17
栃　　木	(028)653-2811	〒321-0106	栃木県宇都宮市上横田町1302-12
茨　　城	(0298)64-4751	〒300-3261	茨城県つくば市花畑2-15-3
水　　戸	(029)251-4125	〒311-4152	茨城県水戸市河和田3-2386-1
群　　馬	(027)362-1151	〒370-0001	群馬県高崎市中尾町池の内441
西 関 東	(0276)22-7702	〒373-0015	群馬県太田市東新町72-2
新　　潟	(025)285-2431	〒950-0973	新潟県新潟市上近江3-5-18
長　　岡	(0258)24-0705	〒940-0029	新潟県長岡市東蔵王2-3-46
上　　越	(025)543-3535	〒942-0074	新潟県上越市石橋2-2-9
城　　東	(03)3607-3191	〒125-0051	東京都葛飾区新宿4-10-15
城　　北	(03)3958-1261	〒173-0021	東京都板橋区弥生町72-5
城　　西	(03)3376-3361	〒151-0073	東京都渋谷区笹塚3-1-13
武 蔵 野	(042)364-7721	〒183-0045	東京都府中市美好町2-3-1
戸　　塚	(045)827-2831	〒224-0806	神奈川県横浜市戸塚区上品濃9-14
相 模 原	(042)742-2272	〒228-0805	神奈川県相模原市豊町17-11
平　　塚	(0463)55-3926	〒254-0014	神奈川県平塚市四之宮3-20-63
千　　葉	(043)241-7311	〒260-0025	千葉県千葉市中央区問屋町5-20
鎌 ケ 谷	(047)441-0111	〒273-0105	千葉県鎌ケ谷市鎌ケ谷7-6-59
山　　梨	(055)226-2561	〒400-0035	山梨県甲府市飯田4-8-23

中　部　地　区

名古屋	(052)979-3455	〒461-0011	愛知県名古屋市東区白壁5-41
岡　崎	(0564)23-3418	〒444-0065	愛知県岡崎市柿田町1-2
岐　阜	(058)246-3417	〒501-6006	岐阜県羽島郡岐南町伏屋1-35
静　岡	(054)261-4151	〒420-0813	静岡県静岡市長沼885
沼　津	(055)963-1000	〒410-0861	静岡県沼津市真砂町3-1
浜　松	(053)461-8685	〒435-0016	静岡県浜松市和田町795-2
松　本	(0263)26-1107	〒390-0835	長野県松本市高宮東1-35
長　野	(026)299-9501	〒388-8006	長野県長野市篠ノ井御幣川字東松島1000-2
金　沢	(076)237-7811	〒920-0062	石川県金沢市割出町627
富　山	(076)422-7020	〒939-8211	富山県富山市二口町1-13-8
福　井	(0776)22-6082	〒918-8231	福井県福井市問屋町1-17
三　重	(059)228-8126	〒514-0838	三重県津市岩田10-3

近　畿　地　区

大　阪	(06)6992-6235	〒570-0086	大阪府守口市竹町4-13
大阪南	(06)6761-4600	〒543-0001	大阪府大阪市天王寺区上本町5-1-14 三洋ビル2F
大阪東	(0729)65-1811	〒578-0903	大阪府東大阪市今米2-3-29
阪　和	(072)221-8571	〒590-0959	大阪府堺市大町西3-1-16
京　都	(075)672-0877	〒601-8102	京都府京都市南区上鳥羽菅田町41
三　丹	(0773)27-3458	〒620-0856	京都府福知山市土師宮町1-66
奈　良	(0744)22-7888	〒634-0837	奈良県橿原市曲川町7-1-31
滋　賀	(077)545-4221	〒520-2134	滋賀県大津市瀬田1-1-5
和歌山	(073)436-3110	〒641-0006	和歌山県和歌山市中島369
田　辺	(0739)22-7520	〒646-0051	和歌山県田辺市稲成町南江原318
神　戸	(078)651-3951	〒652-0897	兵庫県神戸市兵庫区駅南通2-1-11
阪　神	(06)6432-3401	〒661-0026	兵庫県尼崎市水堂町4-17-6
姫　路	(0792)96-2141	〒670-0981	兵庫県姫路市西庄字八町108
淡　路	(0799)22-2702	〒656-0101	兵庫県洲本市納字横竹308-1

中　国　地　区

広　　島	(082)293-6511	〒733-0012	広島県広島市西区中広町3-17-5
福　　山	(084)954-4101	〒721-0952	広島県福山市曙町4-22-10
岡　　山	(086)245-1634	〒700-0973	岡山県岡山市下中野703-101
津　　山	(0868)22-6133	〒708-0002	岡山県津山市上河原239-10
鳥　　取	(0857)24-2930	〒680-0843	鳥取県鳥取市南吉方3-107
浜　　田	(0855)22-7883	〒697-0023	島根県浜田市長沢町3049
松　　江	(0852)23-1183	〒690-0017	島根県松江市西津田4-1-14
山　　口	(083)973-3391	〒754-0024	山口県吉敷郡小郡町若草町2-6

四　国　地　区

愛　　媛	(089)971-3342	〒791-8036	愛媛県松山市高岡町148-1
宇 和 島	(0895)27-1818	〒798-0077	愛媛県宇和島市保田甲934-3
香　　川	(087)843-1840	〒761-0104	香川県高松市高松町2175-10
高　　知	(088)860-0229	〒781-5106	高知県高知市介良乙1044
徳　　島	(088)699-4131	〒771-0219	徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓150-2

九　州　地　区

福　　岡	(092)928-3414	〒818-8534	福岡県筑紫野市紫6-1-1
北 九 州	(093)521-5286	〒802-0023	福岡県北九州市小倉北区下富野2-10-28
中 九 州	(0942)21-3534	〒830-0052	福岡県久留米市上津町字赤坂1890-2
長　　崎	(095)824-5628	〒850-0012	長崎県長崎市本河内3-21-43
佐 世 保	(0956)31-7635	〒857-1162	長崎県佐世保市卸本町17-1
熊　　本	(096)357-1122	〒861-4106	熊本県熊本市南高江3-2-88
八　　代	(0965)35-3483	〒866-0871	熊本県八代市田中東町12-7
大　　分	(097)543-3454	〒870-0822	大分県大分市大道町3-4-32
宮　　崎	(0985)29-3441	〒880-0036	宮崎県宮崎市花ケ島町観音免883
鹿 児 島	(099)251-4615	〒890-0068	鹿児島県鹿児島市東郡元町11-10

沖　縄　地　区

沖　　縄	(098)944-5018	〒903-0103	沖縄県中頭郡西原町小那覇1303 沖縄三洋販売(株)　サービス部

(290305F)

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

無料修理規定

お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本書をご持参ご提示ください。

1. 保証期間でも次のような場合には有料修理となります。
   イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   ロ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
   ニ. 業務用としての使用、車両・船舶への搭載など一般家庭以外に使用された場合の故障または損傷。
   ホ. 本書の提示がない場合。
   ヘ. 本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   ト. 消耗品の交換・仕様変更など。
2. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理をおこなった場合の出張料はお客さまの負担となります。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本書に記入の販売店に修理をご依頼になれない場合には、「お客さまご相談窓口」をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

● 保証期間経過後の修理補修用性能部品の保有期間について詳しくは 「保証書とアフターサービス」(130ページ)をご覧ください。

索引

アルファベット

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行